

一般財団法人 黎明郷

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

Hirosaki Stroke and Rehabilitation Center

年報

第9号

2021.4～2022.3



一般財団法人 黎明郷 理念

質の高い医療・リハビリテーションを実践し、
地域社会の保健医療福祉に貢献します。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 基本方針

- ◆地域に開かれた病院として脳卒中医療に貢献します。
- ◆活発な地域連携（病病連携・病診連携）を展開します。
- ◆最新かつ最適な医療とリハビリテーションを提供します。
- ◆チーム医療により自立への支援に努めます。
- ◆安全に配慮し、快適な入院環境作りを目指します。
- ◆最新の脳卒中医療情報を発信します。

目 次

巻頭言	院 長 鎌田 孝篤	1
施設概要・沿革		2
機構図		3
役員名簿（理事・監事）		4
評議員名簿		5
職員数		6
診療実績（入院患者数等、検査件数）		7
脳ドック・訪問リハビリ実績		9
研修認定施設		10
専門医数		11
実習受入状況		12
財団事業		13
青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会		13
青森県成人・老人リハビリテーション施設協会		14
学術報告		15
学会発表		15
論文発表 等		19
委員会報告		20
医療安全管理委員会		20
医療器材管理委員会		24
感染対策委員会		27
栄養管理委員会		31
褥瘡対策委員会		34
臨床検査適正化委員会		37
薬事審議委員会		39
診療記録管理委員会		41
電子保存システム管理委員会		43
DPCコーディング委員会		44
倫理委員会		45
衛生委員会		47
部署代表者委員会		50
教育研修委員会		51
施設運用委員会		52
広報委員会		54
患者サービス委員会		57
レクリエーション委員会		61
I C T		63
D S T		71
脳ドック ワーキンググループ		73
心臓リハビリテーション ワーキンググループ		80
口腔ケア ワーキンググループ		83
編集委員		85

巻 頭 言

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
院 長 鎌 田 孝 篤

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター年報第 9 号（令和 3 年度）が発刊の運びとなりました。

令和 3 年度は新型コロナウイルス感染第 4 波、5 波、6 波に見舞われました。そのなかで令和 3 年 10 月 9 日青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会が開催され、講師として介護老人保健施設 施設長、秋田大学名誉教授 塩谷隆信先生からご講演「呼吸器リハビリテーションの現状と展望」を頂きました。一方、青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会は日程を変更し 10 月 30 日に開催され、札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座教授 石合純夫先生によるご講演「高次脳機能障害の本質を見極め社会復帰を支援する」がありました。財団主催の脳卒中市民講座は残念ながら令和 3 年度も中止となりました。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンターの令和 3 年度も救急紹介患者を断らず、脳卒中類縁疾患も広く受け入れ、回復期リハ病棟の退院調整を積極的に行なうことなどを継続しています。新型コロナの波状攻撃の中、病床稼働率は一般、回復期病棟ともに多少落ち込んだ時期がありましたが病院全体の病床稼働率は 91.7%と目標を達成しています。回復期リハビリテーション病棟指数のなかでは一日一人あたりのリハ提供単位数は 6.38 と前年度を上回っています。

検査・手術件数はほぼ前年度に匹敵する数値となっています。経皮的脳血栓回収術が 10 件、運動器リハビリテーションが 46 件と増加しています。脳ドックは前年度を上回り、訪問リハビリ実績は前年度に匹敵する数字となっています。

各委員会報告では医療機材管理委員会、感染対策委員会の内容は令和 3 年度も新型コロナ関係が目立ちます。レクリエーション委員会からは 2 年連続の新入職員歓迎会中止、忘年会中止の報告がありました。

新型コロナ感染は一向に収束の兆しは見えません（令和 4 年 12 月現在）。With コロナ時代に向け医療体制も変化していきます。今後どのように変わっていくのでしょうか。令和 3 年度の年報は当センターの診療や情報発信の現状を示す指標であり、奮闘した職員の貴重な記録です。今後に向けて、十分に吟味し活用されることを願っております。

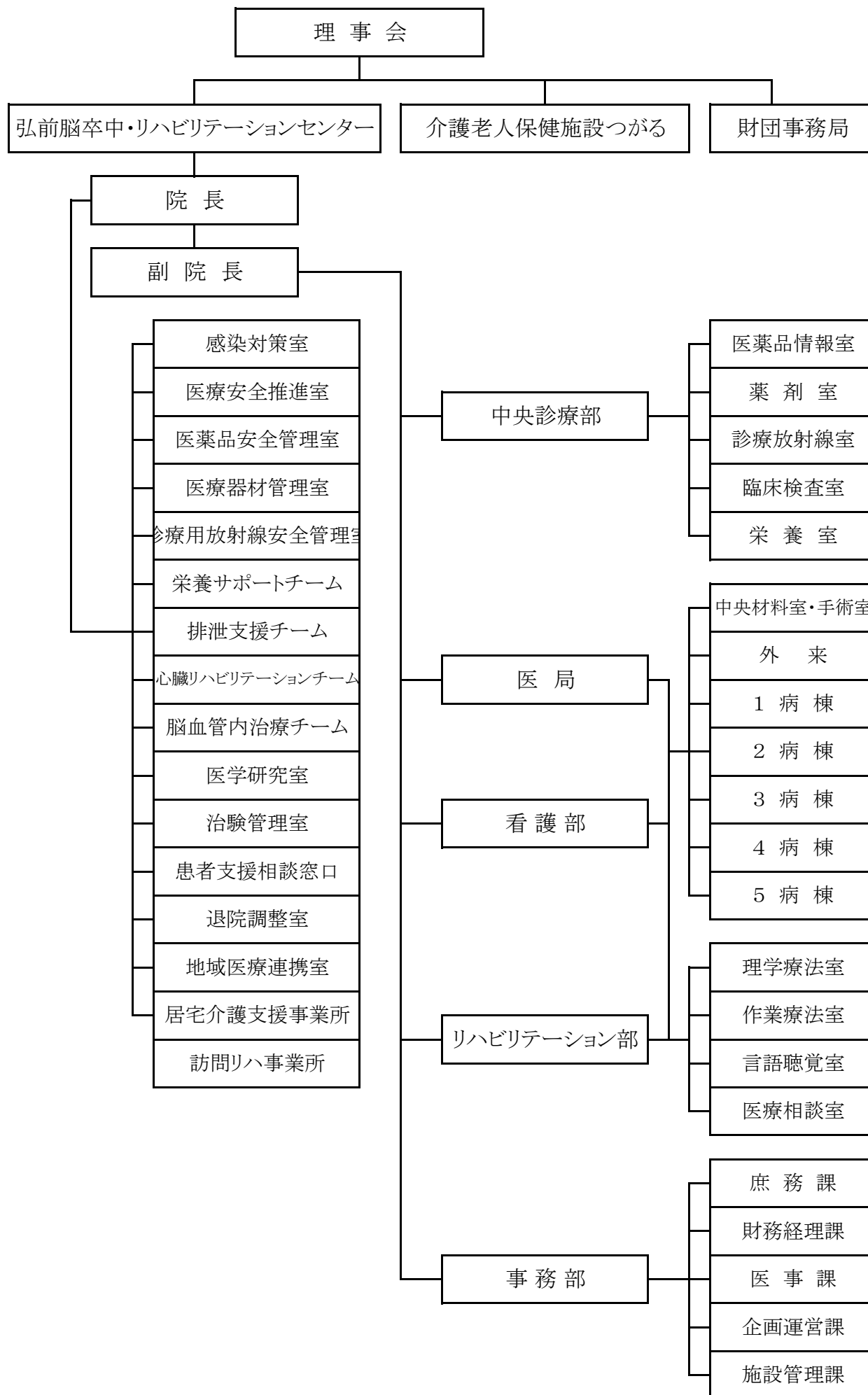
年報を担当した広報委員会の佐々木都子委員長をはじめ、各委員書誌の労に敬意を表したいと存じます。

施設概要

年 月	内 容
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設（145 床） 構造/鉄筋コンクリート造り地上4階 敷地面積 19,872.80 m² 建築延面積 11,414.94 m² 一般病棟 35 床 回復期リハビリテーション病棟 110 床 内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科
平成23年 4月	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター開設（名称変更）（248 床） 構造/鉄筋コンクリート造り地上4階 敷地面積 25,828.95 m² 建築延面積 18,579.55 m² 一般病棟 79 床 回復期リハビリテーション病棟 169 床 内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、歯科
平成25年 4月	診療科目変更 脳・血管内科、循環器内科、内科、脳神経外科、リハビリテーション科、神経内科、放射線科、歯科

沿 革

年 月	内 容
昭和41年 4月	青森県知事より財団法人黎明郷の設立認可
昭和41年 7月	碓ヶ関村より診療所の委託を受け診療を開始（10 床）
昭和42年 4月	黎明郷リハビリテーション病院開設（60 床、昭和 57 年 7 月 248 床）
昭和60年 9月	黎明郷リハビリテーション病院に高血圧センター併設
平成15年 4月	黎明郷リハビリテーション病院に介護老人保健施設つがるを併設
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設（145 床）内科・神経内科・脳神経外科・リハビリテーション科・整形外科
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設に伴い黎明郷リハビリテーション病院（103 床）となる
平成23年 4月	弘前脳卒中センターと黎明郷リハビリテーションを統合し、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターを開設（248 床） 開設に伴い黎明郷リハビリテーション病院は廃止 碓ヶ関診療所（無床）を開設
平成24年 3月	碓ヶ関診療所廃止
平成25年 4月	一般財団法人へ移行



役員名簿

令和4年3月31日現在

氏 名	所属・職名 等
保嶋 実 (顧問)	一般財団法人 黎明郷 前 理事長
高梨 信吾 (理事)	一般財団法人 黎明郷 理事長
奥村 謙 (理事)	済生会 熊本病院心臓血管センター 循環器内科 不整脈先端治療部門最高技術顧問
富田 泰史 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 教授
花田 信之 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 救急・災害医学講座 教授
佐々木 真吾 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 准教授
玉田 友一 (理事)	玉田内科医院 院長
長尾 忠行 (理事)	平川市長
山田 年伸 (理事)	大鰐町長
鹿内 勲 (理事)	(株)青森銀行 常務取締役弘前地区営業本部長
佐藤 陽子 (理事)	元 青森県環境生活部長
鎌田 孝篤 (理事)	一般財団法人 黎明郷 院長
小林 正志 (理事)	一般財団法人 黎明郷 前 常務理事・前 事務局長
一戸 治 (監事)	一戸治税理士事務所
山中 一彦 (監事)	(株)青森銀行 執行役員 弘前支店長

評議員名簿

令和4年3月31日現在

氏 名	所属・職名 等
吉岡 利忠	医療法人 三良会 村上新町病院 院長
込山 稔	社会福祉法人 藤聖母園 理事
梅村 芳文	医療法人 芳真会 梅村医院 院長
畑山 亨	畑山医院 院長
葛西 聡	あすなろ法律事務所 弁護士
奈良岡 勇造	元 青森県生活環境部 理事
村田 大六	豊田地区町会連合会 会長
横山 篤	一般財団法人 黎明郷 介護老人保健施設つがる 施設長
萩井 譲士	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
内沢 隆充	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
清野 聡	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
樋口 三枝子	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 看護部長 一般財団法人 黎明郷 介護老人保健施設つがる 看護部長

職員数

※過去3年分について掲載

職 種	令和元年度	令和2年度	令和3年度
医 師	19	19	18
薬剤師	7	9	10
診療放射線技師	7	8	8
臨床検査技師	8	8	7
理学療法士	60	66	73
作業療法士	56	64	71
言語聴覚士	7	8	11
医療相談員	10	10	10
医療部助手	2	1	1
管理栄養士	4	4	5
看護師	151	153	165
准看護師	22	25	20
看護助手	30	26	47
歯科衛生士	2	2	2
介護支援専門員	2	2	2
事務員	39	42	45
合 計	426	447	495

各年度4月1日現在

診療実績 入院患者数

※過去3年分について掲載

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
延患者数（人）		86,677	81,657	83,002
病床数		248	248	248
病床稼働率（％）		95.5	90.2	91.7
平均在院日数（日）	一般病棟	18	64	63
	回復期病棟	82	157	162
	一般病棟	18.3	18.2	18.4
	回復期病棟	82.1	82.8	82.3
新患受入件数（件）				
a. 救急車		584	535	584
		(25.7%)	(26.6%)	(28.3%)
b. 直接来院		1,687	1,476	1,481
		(74.3%)	(73.4%)	(71.7%)
※ c. 救急車受入のうち入院（件）		476	428	447
（c / a）		(81.5%)	(80%)	(76.5%)
一般病棟指標				
在宅復帰率		89.5%	85.4%	83.2%
医療・看護必要度 重症者割合		35.9%	21.8%	31.0%
回復期リハビリテーション病棟指標				
在宅復帰率		83.6%	86.7%	83.6%
新規入棟患者重症者割合〔A項目〕		—（※）	—（※）	—（※）
新規入棟患者重症者割合〔B項目〕		53.3%	49.3%	54.2%
重症患者回復割合（退棟時）		59.3%	60.8%	48.2%
回復期病棟延患者数（人）		60,322	57,859	59,574
実施リハ単位数		339,943	362,417	380,364
一日一人当たりリハ提供単位数		5.64	6.26	6.38
脳卒中地域連携パス適用患者数（平成25年9月～）		0	0	0

（※）平成30年4月～廃止

診療実績 検査・手術件数

※過去3年分について掲載

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
MR I		4,522	4,018	4,058
C T		4,217	3,903	3,713
単純C T撮影		3,721	3,610	3,645
超音波	頰動脈	1,450	1,294	2,689
	心臓	1,105	1,081	1,059
	経食道心臓	512	140	167
	その他	100	106	119
	合計	3,167	2,621	4,034
A B I (脈波)		862	879	876
ホルター心電図		945	962	989
血管造影	脳血管造影	42	22	19
	頭頸部血管造影	—	—	—
	大動脈造影	—	—	1
	心臓カテーテル検査	12	14	0
	下肢血管造影	3	1	1
	合計	57	0	0
透視下検査	嚥下造影	30	46	52
	上部消化管造影	—	—	—
	透視のみ	—	2	—
	合計	30	48	52
内視鏡	内視鏡下胃瘻造設術	—	—	—
	胃瘻交換	10	7	1
	胃・十二指腸ファイバースコピー	4	3	1
	食道ファイバースコピー	—	—	1
	合計	14	10	3
血栓溶解療法 (t-P A)		21	22	25
頰動脈ステント留置術		12	9	11
経皮的脳血管形成術		1	0	2
経皮的脳血栓回収術		3	3	10
ペースメーカー移植・交換術		3	5	4
気管切開術		2	2	1
運動器リハビリテーション		11	31	46
心大血管疾患リハビリテーション		25	21	12
脳血管疾患リハビリテーション		1,385	1,281	1,332

脳ドック実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	4	2	5	12	13	13	22	15	18	16	18	5	143
令和2年度	0	0	7	17	18	21	22	16	15	11	1	13	141
令和3年度	0	5	3	20	15	20	26	29	24	20	6	6	174

※過去3年分について掲載

訪問リハビリ実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	208	219	198	219	189	192	209	208	194	189	208	214	2,447
令和2年度	201	171	220	242	212	224	233	221	205	189	189	227	2,534
令和3年度	206	188	213	209	198	197	219	233	209	209	207	233	2,521

※過去3年分について掲載

研修認定施設

	認 定 学 会	認 定 期 間
1	日本脳卒中学会認定研修教育病院	2013. 4. 1～2014. 12. 31 2015. 1. 1～2016. 12. 31 2017. 1. 1～2020. 3. 31 2020. 4. 1～2021. 3. 31 2021. 4. 1～2022. 3. 31
2	日本リハビリテーション医学会認定研修施設	2012. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2022. 3. 31
3	日本静脈経腸栄養学会N S T稼働認定施設	2014. 4. 1～2019. 3. 31 2019. 4. 1～2024. 3. 31
4	日本高血圧学会専門医認定施設	2012. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2022. 3. 31
5	日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設	2013. 4. 1～2015. 3. 31 2015. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2019. 3. 31 2019. 4. 1～2021. 3. 31 2021. 4. 1～2023. 3. 31

専門医数

単位：人

資 格	計
日本高血圧学会認定専門医	1
日本循環器学会認定循環器専門医	5
日本腎臓学会腎臓専門医	1
日本内科学会総合内科専門医	6
日本臨床検査医学会臨床検査専門医	1
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医	6
日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医	2
日本脳神経血管内治療学会認定専門医	1
日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医	1
合 計	24

令和4年3月31日現在

※合計は延べ人数

実習受入状況

※過去3か年分について掲載

令和元年度	医局	薬剤室	看護部	リハビリテーション部				栄養室	事務	全体
				P T	O T	S T	MSW			
延件数 (単位：件)	7	1	18	14	16	3	2	2	2	65
延人数 (単位：人)	365	54	756	385	72	78	46	42	7	1805

令和2年度	医局	薬剤室	看護部	リハビリテーション部				栄養室	事務	全体
				P T	O T	S T	MSW			
延件数 (単位：件)	4	4	8	12	11	5	2	2	1	49
延人数 (単位：人)	179	212	1107	223	297	128	46	35	12	2239

令和3年度	医局	薬剤室	看護部	リハビリテーション部				栄養室	事務	全体
				P T	O T	S T	MSW			
延件数 (単位：件)	5	2	11	12	14	6	4	2	1	55
延人数 (単位：人)	477	106	937	356	565	248	63	50	10	2706

財団事業(青森県委託事業)
 青森県高次脳機能障害支援拠点機関
 令和3年度事業活動報告

1. 青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会

開催日時：令和3年10月30日（土）14：00～16：30

開催場所：アラスカ会館 4F ダイヤモンド

参加者：44名 ※他、WEB視聴申込133名

講演

『高次脳機能障害の本質を見極め社会復帰を支援する』

講師：札幌医科大学医学部 リハビリテーション医学講座

教授 石合 純夫 先生

※拠点機関支援コーディネーターによる医療福祉相談を同時開催

2. 青森県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業検討委員会

開催日時：令和3年8月24日（火）17：30～

開催場所：ウェディングプラザアラスカ 4階 パールの間

出席者：13名

案件

1. 令和2年度事業報告について
2. 令和3年度事業計画について

3. 相談件数

相談件数	相談者		
	本人	家族	その他
	14	21	39
就労支援	2	2	4
診断・治療	4	14	23
支援体制・家族会	1	4	3
その他	7	1	9

財団事業(事務局)
青森県成人・老人リハビリテーション施設協会
令和3年度事業活動報告

青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会

開催日時：令和3年10月9日(土) 15:10～16:20

開催場所：青森県観光物産館アスパム 5階 あすなろ

参加者：38名 ※他、WEB視聴申込 51名

1. 講演

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

理事長 高梨 信吾 先生

『呼吸リハビリテーションの現状と展望』

講師：介護老人保健施設 施設長

秋田大学名誉教授 塩谷 隆信 先生

学会・研究発表（計 52 題）

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和3年4月17日	第8回日本心血管脳卒中学会学術集会 (web開催)	植込み型心電計移植術を行った潜因性脳梗塞症例の予後の検討	齋藤 新 他
令和3年4月17日	一般社団法人青森県理学療法士会 令和3年度新人プログラム研修会（青森市）	理学療法における関連法規（労働法含む）	中村 学人
令和3年4月17日	一般社団法人青森県理学療法士会 令和3年度新人プログラム研修会（青森市）	会組織と生涯学習システム	佐藤 翔
令和3年5月14日	糖尿病スキルアップセミナー 「糖尿病と脳血管疾患」 (第一三共) (web開催)	糖尿病患者さんの脳血管疾患予防	齋藤 新
令和3年5月30日	第33回青森県作業療法学会（web開催）	帯折り作業の獲得に向けた作業療法が復職への意欲に繋がった一例	田中 圭 他
令和3年6月10日 ～ 6月11日	第58回日本リハビリテーション医学会学術集会 (web開催)	Contraversive Pushingを呈した症例に対し免荷式歩行リフトPOP0を使用した歩行練習の介入報告	藤嶋 緑 他
令和3年6月10日 ～ 6月11日	第58回日本リハビリテーション医学会学術集会 (web開催)	重度感覚障害を呈した回復期脳卒中片麻痺患者のReoGo-Jと振動刺激療法の訓練効果	戸澤 賢一 他
令和3年6月10日 ～ 6月11日	第58回日本リハビリテーション医学会学術集会 (web開催)	左視床出血により上肢運動失調を呈した脳卒中後回復期における症例に対するReoGo-Jを用いた訓練効果	赤平 一樹 他
令和3年6月10日 ～ 6月13日	第58回日本リハビリテーション医学会学術集会 (web開催)	初診時より白血球及び血小板増多を認め、診断変更をした脳梗塞の1症例	馬場 佳子 他
令和3年6月10日 ～ 6月13日	第58回日本リハビリテーション医学会学術集会 (web開催)	胸腔ドレーン洗浄中に脳空気塞栓症をきたした1症例について	馬場 佳子 他
令和3年6月10日 ～ 6月13日	第58回日本リハビリテーション医学会学術集会 (web開催)	再発脳卒中におけるリハビリテーション後の機能予後の検討	中村 太源 他
令和3年6月27日	第45回青森県理学療法士会（web開催）	当院における装具評価の取り組みの報告	山本 賢雅 他
令和3年6月27日	第45回青森県理学療法士会（web開催）	脳卒中患者における発症時と発症2週時の筋肉量の変化に関する検討	小田桐 怜 他
令和3年6月27日	一般社団法人青森県作業療法士会 地域包括ケアシステムアドバンス研修会 (弘前市)	・ 地域包括ケアシステムにおいて対象者の生活を捉える視点について ・ 対象者の生活行為の診方・分析の視点及び整理の仕方について ・ 事例検討と生活行為向上のマネジメント (MTDLP) について	金谷 圭子

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和3年7月2日	北日本脳卒中内科 AISWebinar (日本ストライカー) (web開催)	弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける脳卒中内科医の役割	齋藤 新
令和3年7月10日	第48回日本心血管インターベンション治療学会 東北地方会 (web開催)	二重メッシュ構造を有する頸動脈ステント CASPERの使用経験	齋藤 新 他
令和3年7月11日	一般社団法人青森県作業療法士会 2021年度現職者研修会 (弘前市)	作業療法士における協業・後輩育成	算用子 暁美
令和3年7月18日	一般社団法人青森県作業療法士会 2021年度現職者研修会 (弘前市)	生活行為向上マネジメント概論	今井 寛人
令和3年8月21日	第2回日本脳神経内科血管治療研究学会学術集会 (web開催)	脳血管造影と冠動脈造影を同時に実施した頸動脈狭窄症連続70例の検討	齋藤 新 他
令和3年8月31日	大塚製薬web研修会 (大塚製薬) (web開催)	高齢者への処方支援と手法提案シートの活用	鳥谷部 翔
令和3年9月10日 ～ 9月11日	第55回日本作業療法士学会 (web開催)	脳卒中片麻痺患者にReoGo-J及び機能的電気刺激を使用し生活場面で麻痺側手の使用頻度の改善に繋がった1症例	渡部 清寛 他
令和3年9月10日 ～ 9月11日	第55回日本作業療法士学会 (web開催)	回復期の脳卒中患者に対して修正CI療法とロボット療法を併用し食事動作と書字動作の獲得に至った症例	三宅 保志 他
令和3年9月10日 ～ 9月11日	第55回日本作業療法士学会 (web開催)	脳卒中後回復期における上肢運動麻痺に対し修正CI療法を含むエビデンスに基づいた複合的な介入を実施した一症例	赤平 一樹 他
令和3年9月23日	公益社団法人青森県栄養士会 生涯教育研修会 (青森市)	やさしい脳卒中の解説	齋藤 輝之
令和3年10月2日	第50回記念青森県看護学会 (web開催)	脳卒中患者に対して排便日誌を用いた排便コントロールへの取り組み ～排便習慣と患者の意識変容に焦点を置いて～	阿部 真央 他
令和3年10月2日	第50回記念青森県看護学会 (web開催)	片麻痺のある脳卒中患者の自己の障害に対する認識	村上 直美 他
令和3年10月9日	第1回青森脳心血管病予防研究会 (興和) (青森市)	Positive remodelingによる症候性頸動脈軽度狭窄を認めたFamilial Hypercholesterolemiaの一例	齋藤 新
令和3年10月15日 ～ 10月17日	第43回日本高血圧学会総会 (web開催)	“ゆいまーる”で広げよう、高血圧対策と脳心血管病予防	白戸 弘志
令和3年10月27日 ～ 10月30日	日本脳神経外科学会第80回学術総会 (web開催)	科学の追求と実践知の涵養	内沢 隆充

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和3年10月29日	第1回成年後見制度研修会 (web開催)	成年後見制度の活用と成年後見人等の役割	齋藤 拓也
令和3年11月6日	第19回青森県脳卒中 フォーラム (青森市)	COVID-19パンデミック下に発症した脳静脈洞血 栓症の一例 ～ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) の経験を踏まえて～	齋藤 新 他
令和3年11月6日	令和3年度青森県理学療法 士会 津軽支部研修会 (web開催)	体組成計を用いた当院における理学療法研究の 紹介	小田桐 怜
令和3年11月18日 ～ 11月19日	リハビリテーション・ケ ア合同研究大会 兵庫 2021 (web開催)	コロナ禍における当院のリハビリテーション部 の運営状況	算用子 暁美 他
令和3年11月18日 ～ 11月19日	リハビリテーション・ケ ア合同研究大会 兵庫 2021 (web開催)	当院におけるチェックシートを用いた歩行自立 評価の成果	須藤 真史 他
令和3年11月20日	青森県病院薬剤師会腎臓 薬物療法セミナー (青森県病院薬剤師会、 協和キリン) (青森市)	高齢者への処方支援と手法提案シートの活用	鳥谷部 翔
令和3年11月20日 ～ 11月21日	一般社団法人青森県理学 療法士会 厚生労働省指定臨床実習 指導者講習会 (web開催)	・ 臨床実習指導者講習会の開催の背景並びに目 的 ・ 世話人の役割およびグループワークの展開法	中村 学人
令和3年11月28日	一般社団法人青森県理学 療法士会 令和3年度新人プログラム 研修会 (弘前市)	統計方法論	佐藤 翔
令和3年11月28日	一般社団法人青森県理学 療法士会 令和3年度新人プログラム 研修会 (弘前市)	人間関係及び接遇	鳴海 正紀
令和3年12月11日 ～ 12月12日	一般社団法人青森県理学 療法士会 厚生労働省指定臨床実習 指導者講習会 (web開催)	・ 臨床実習指導者講習会の開催の背景並びに目 的 ・ 世話人の役割およびグループワークの展開法	中村 学人
令和3年12月18日 ～ 12月19日	第19回日本神経理学療法 学会学術大会inいわて (web開催)	片脚立位における遊脚下肢の動揺が姿勢保持に 与える影響	阿部 愛 他
令和3年12月18日 ～ 12月19日	第19回日本神経理学療法 学会学術大会inいわて (web開催)	仮想現実にて速度誤認識を形成させた際の前進 および後進歩行の脳血流量変化に関する検討	田口 惇 他
令和3年12月18日 ～ 12月19日	第19回日本神経理学療法 学会学術大会inいわて (web開催)	急性期脳卒中患者の筋肉量を減少させる因子に 関する検討	小田桐 怜 他

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和4年1月22日	一般社団法人青森県理学療法士会 令和3年度津軽・西北五支部合同症例検討会 (web開催)	右被殻出血により左片麻痺を呈した症例 ～長下肢装具を使用した歩行練習に機能的電気刺激を併用した介入効果～	五十嵐 大地
令和4年1月26日	第32回弘前脳疾患臨床セミナー（第一三共） (web開催)	植込み型心臓モニタの現状と課題	齋藤 新
令和4年2月4日 ～2月5日	回復期リハビリテーション病棟協会第39回研究大会in東京（web開催）	当院におけるイブニングリハの取り組み （第1報）	栗嶋 奈津子 他
令和4年2月5日	回復期リハビリテーション病棟協会第39回研究大会in東京（web開催）	頸動脈狭窄症例における脳血管造影と冠動脈造影の同時実施の意義	齋藤 新
令和4年2月17日 ～2月19日	第51回日本神経放射線学会（web開催）	頭部単純CT画像とNIHSSからみたPenumbra	内沢 隆充
令和4年3月5日 ～3月6日	一般社団法人青森県理学療法士会 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会 (web開催)	・臨床実習指導者講習会の開催の背景並びに目的 ・世話人の役割およびグループワークの展開法	中村 学人
令和4年3月17日 ～3月19日	STROKE2022（web開催）	頭部単純CT画像による脳虚血範囲の可視化	内沢 隆充
令和4年3月17日 ～3月20日	STROKE2022（web開催）	HELT-E ₂ S ₂ スコアは心原性脳梗塞栓発症リスクと同様に機能予後も予測する	白戸 弘志 他
令和4年3月17日 ～3月20日	STROKE2022（web開催）	COVID-19ワクチン接種6日後に発症した脳静脈洞血栓症の一例	齋藤 新 他
令和4年3月27日	第45回NPO法人日本脳神経血管内治療学会東北地方会学術集会（仙台市）	脳血管造影と冠動脈造影を同時に実施した頸動脈狭窄症連続74症例78病変の検討	齋藤 新 他

論文掲載（計 7 題）

年 月	雑 誌 名	発 表 演 題	発 表 者
令和3年5月	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases Vol. 30 (5) (P. 96-101)	Clinical outcomes and medical costs of hydration therapy with hydroxyethyl starch (130/0.4) or acute single infarction	藤田 彩香 目時 典文 萩井 讓士 白戸 弘志 岩田 学 津田 英一 他
令和3年8月	The Neuroradiology Journal Vol. 34 (4) (P. 341-347)	Minute changes of cerebral parenchymal non-contrast computed tomography attenuation reflect cerebral volume alterations of blood	内沢 隆充
令和3年9月	結核 Vol. 96 (6) (P. 173-182)	インターフェロン γ 遊離試験使用指針2021	加藤 誠也 高梨 信吾 他
令和3年11月	Hirosaki Medical Journal Vol. 72 (1-4) (P. 43-50)	Frequent supraventricular premature contractions are an independent predictor for detection of atrial fibrillation in patients with embolic stroke undetermined source	北山 和敬 齋藤 新 濱舘 美里 山田 奈津美 白戸 弘志 目時 典文 萩井 讓士 鎌田 孝篤 高梨 信吾 富田 泰史 他
令和4年2月	Scientific Reports (DOI : https://doi.org/10.1038/s41598-022-06074-1)	Influence of hospital capabilities and prehospital time on outcomes of thrombectomy for stroke in Japan from 2013 to 2016	黒木 愛 他 (内沢 隆充 : J-ASPECT 当院参加)
令和4年3月	循環器疾患最新の治療 2022-2023 (P. 350-352)	頭蓋内出血	萩井 讓士 富田 泰史
令和4年3月	青森県作業療法研究 Vol. 30 (1) (P. 23-26)	帯折り作業の獲得に向けた作業療法が復職に繋がった一症例	田中 圭 算用子 暁美

医療安全管理委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医療安全管理体制を確立し、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法について、指針を示すことにより、適切な医療安全管理を実践し、患者様へ安全な医療を提供することを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

医療安全管理委員会

委員長 鎌田 孝篤 (病院長)
副委員長 樋口 三枝子 (看護部長) 藤田 尚子 (医薬品情報室副室長) ※
メンバー 萩井 譲士 (副院長・医療安全推進室室長) ※
岩田 学 (医局長・副院長代行) ※
佐々木 都子 (内科部長・リハビリテーション部部長)
算用子 暁美 (リハビリテーション部技師長)
野沢 正人 (事務部長)
立林 修 (事務部次長・庶務課長代行)
工藤 正弘 (看護師長・医療安全推進室副室長) ◆

※医療安全推進室 (兼務)

◆専従医療安全管理者

3. 委員会等開催記録

医療安全管理委員会

回	開催日	内 容
1	令和3年4月20日	3月分医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 転倒転落ワーキングから 医薬品副作用などの報告 令和3年度1年間のインシデント・アクシデント報告
2	令和3年5月18日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 4月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告 全職員対象令和3年度医療安全研修会について 令和3年度医療安全業務改善報告、令和4年度医療安全業務改善計画書について
3	令和3年6月15日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 5月分インシデント・アクシデント報告 令和4年度第1回医療安全研修会の(電子カルテ)開催の方法について確認 医薬品副作用などの報告 救助袋での外傷事案について報告

4	令和 3 年 7 月 20 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 6 月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告
5	令和 3 年 8 月 17 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 7 月分インシデント・アクシデント報告 第 1 回医療安全・医薬品安全管理研修会まとめ・参加集計 医薬品副作用などの報告
6	令和 3 年 9 月 21 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 8 月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告
7	令和 3 年 10 月 19 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 医薬品副作用などの報告 令和 4 年度第 2 回医療安全研修会開催について説明 令和 4 年度医療安全相互点検について訪問可能かどうか確認
8	令和 3 年 11 月 16 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 10 月分インシデント・アクシデント報告 令和 4 年度 第 2 回医療安全・第 1 回医療ガス研修会について 医薬品副作用などの報告 令和 4 年度医療安全相互点検についての進捗状況報告
9	令和 3 年 12 月 21 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 11 月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告 第 2 回医療安全・第 1 回医療ガス研修会まとめ・参加集計報告
10	令和 4 年 1 月 18 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 12 月分インシデント・アクシデント報告 医療安全対策地域連携相互点検について報告 医薬品副作用などの報告 令和 4 年度医療安全相互点検についての結果報告
11	令和 4 年 2 月 15 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告（紙上開催） 1 月分インシデント・アクシデント報告（紙上開催） 医薬品副作用などの報告
12	令和 4 年 3 月 15 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 2 月分インシデント・アクシデント報告 令和 4 年度 医療安全部門別業務改善計画評価について 医薬品副作用などの報告

医療安全研修会

	開催日	内 容
第 1 回	令和 3 年 6 月 29 日～7 月 11 日	医療安全：令和 2 年度のインシデント・アクシデントデータ報告を通し、実際の事例から今後の業務に活かそう 医薬品安全管理：くすりとリスク 2021 医療安全ガス：医療酸素ガスの特性と確認方法を知ろう
第 2 回	令和 3 年 11 月 15 日～26 日	医療安全：転倒転落「0」を目指して 動画研修（約 20 分） 視聴場所：東棟 1 階職員食堂・西側 2 階ラウンジ・大会議室 A

院内巡視

開催日	場所	内容
令和 3 年 4 月 21 日	1 病棟	与薬・注射ミキシングの手順 患者誤認 環境
令和 3 年 5 月 19 日	2 病棟	与薬・注射ミキシングの手順 患者誤認 環境
令和 3 年 6 月 16 日	3 病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和 3 年 7 月 21 日	4 病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和 3 年 8 月 18 日	5 病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和 3 年 9 月 15 日	外来・正面玄関	患者誤認防止対策 外来患者と他者との区分通路
令和 3 年 10 月 20 日	臨床検査室	作業環境の整備 マニュアルの整備 患者誤認
令和 3 年 11 月 17 日	診療放射線室	作業環境の整備 マニュアルの整備 機器の安全確認
令和 3 年 12 月 15 日	栄養室・厨房	安全・感染に配慮した整理・整頓・清潔 患者誤認
令和 4 年 1 月 19 日	リハビリ室	患者の動線確保と安全性の配慮 心リハ急変対応
令和 4 年 2 月 16 日	薬剤室	効率的な作業環境と整理・整備
令和 4 年 3 月 16 日	事務室・SPD	整理・整頓 患者誤認防止対策

4. 活動要約

- ・インシデント・アクシデント事例の分析・再発防止の検討
- ・医療安全管理に関する全般事項の調査・報告・審議
- ・医療事故防止のための提言
- ・医薬品副作用の報告
- ・医療安全研修会（年 2 回開催）

第 1 回 医療安全・第 1 回医薬品安全管理研修会・第 1 回医療ガス研修会

参加率：98.7%（465 名参加／471 名予定）

医療安全研修会のテーマを「2020 年度のインシデント・アクシデント報告を通し、実際の事例から今後の業務に活かそう」と第 1 回医薬品安全管理研修会は「くすりとリスク 2021」、第 1 回医療ガス研修会は「医療酸素ガスの特性と確認方法を知ろう」と題し研修を企画した。

今年も前年に引き続き、新型コロナ感染蔓延が持続しており、感染対策の面から集合研修の形が出来ず、学習研修の形となった。

第2回 医療安全研修会 参加率：90.4%（431名参加／477名予定）

「転倒転落「0」目指して」と題し、患者自身の行動や介助側の注意点を取り入れた動画視聴とした。

- ・インシデント・アクシデントレポートの収集

インシデント・アクシデント事例を分析し、結果を現場へフィードバックする。

- ・院内ラウンド

定期的な院内ラウンドにより安全な作業環境、ルール・マニュアル遵守状況の把握をする。

- ・医療安全対策地域連携相互点検

医療安全対策の現状について連携する病院間で意見交換及び評価することで、医療安全対策の標準化・質向上を図る。

令和3年度は、コロナの影響でマッチング施設としての健生病院と板柳中央病院とで互いの施設間訪問を検討し今年度は互いを訪問する事を決定し相互点検を実施した。

令和3年度まとめ

インシデント・アクシデントを今年度と昨年度とを比較し、699件から603件へと減少した。

全体的に各カテゴリーで別で比較すると、全体的に低下していたが、チューブ類関連だけ212件から230件へ増加していた。次年度は新しい抑制用具等を導入しながら減少に努めていきたい。

今年度の大きな目標としていた患者誤認は13件から5件へと減少し目標は達成できたのではないかと考える。院内で患者誤認防止の為に館内方法を取り入れた事により、患者側の意識も変わり名乗って頂く事が容易になり職員の意識改革も図れた事で患者誤認減少に繋がったと考える。

今後も更なる患者誤認の減少を図り、患者誤認「0」を目標に、また更にインシデント、アクシデントが減少するよう医療安全として関わっていきたい。また患者様の安全を守るため部署リスクマネージャーと連携しながらマニュアル・ルールを遵守するよう周知させ、5S活動・KYTを推進しスタッフの教育・指導に努めていく。

医療器材管理委員会

1. 活動目的

本委員会は、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける診療材料及び診療に必要な医療機器（以下「医療材料等」という。）の安全採用、死蔵化の防止、その他使用の効率化及び医療材料等の試用に関する事項を審議し、病院運営の健全化を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	医 局	内沢 隆充	（副院長・医療器材管理室長・医療機器安全管理者）
メンバー	医 局	萩井 譲士	（副院長・医療安全推進室長）
		清野 聡	（副院長・感染対策室長）
	看護部	金崎 真紀子	（医療器材管理副室長・看護師長）
		工藤 正弘	（医療安全推進室副室長・看護師長）
		中田 智子	（感染対策室副室長・看護師長）
	リハ部	山本 賢雅	（理学療法室長）
	事務部	菊池 真	（企画運営課主任）
		今 基	（企画運営課長）
		桑田 武人	（企画運営課係長）

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月22日	4月分の医療機器・消耗品申請について報告 シリンジポンプの仕様設定変更について報告 ラジオメーター自主回収品について報告 骨密度測定器について報告 ニトリルグローブ供給状況について報告
2	令和3年5月27日	前回承認された医療機器について報告 5月分の医療機器・消耗品申請について報告 遺伝子検査装置 IDNOW 導入について報告 骨密度測定器について報告 ニトリルグローブ運用状況について報告
3	令和3年6月24日	前回承認された医療機器について報告 6月分の医療機器・消耗品申請について報告 骨密度測定器について報告 令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大・医療提供体制確保支援補助金について報告 新型コロナウイルス感染症患者に必要な人工呼吸器無償譲渡について報告

4	令和3年7月29日	前回承認された医療機器について報告 7月分の医療機器・消耗品申請について報告 令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大・医療提供体制確保支援補助金について報告 新型コロナウイルス感染症患者に必要な人工呼吸器無償譲渡について報告
5	令和3年8月26日	前回承認された医療機器について報告 8月分の医療機器・消耗品申請について報告 経腸栄養製品のコネクタ変更について報告 令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大・医療提供体制確保支援補助金について報告
6	令和3年9月30日	前回承認された医療機器について報告 9月分の医療機器・消耗品申請について報告 血糖測定器定期点検について報告 ディスプレイ電極自主回収品について報告 添付文書の電子化について報告 経管栄養関連仕様変更について報告 令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大・医療提供体制確保支援補助金について報告 新型コロナウイルス抗原簡易キット無償提供について報告
7	令和3年10月21日	委員会構成リハ部1名追加について報告 cobas Liat PCR 遺伝子検査装置導入について報告 人工呼吸器の設置及び操作説明会について報告 医療消耗品製品終了の案内について報告 グローブ、サージカルマスク安定供給に伴う運用について報告 経管栄養関連について報告
8	令和3年11月25日	要綱変更となりリハ部1名追加要員とし全8名の委員構成を報告 11月分の医療機器・消耗品申請について報告 上肢ロボット型運動訓練装置定期点検について報告 サージカルマスク使用状況について報告 経管栄養関連進捗状況について報告 コロナウイルス抗原キット自主回収について報告
9	令和3年12月23日	シリンジポンプ操作説明会について報告 内視鏡洗浄消毒器アップデートについて報告 輸液・シリンジポンプ定期点検について報告 サージカルマスク JIS 規格について報告 インフルエンザウイルス・コロナウイルス抗原検査の同時検出キットについて報告

10	令和4年1月27日	1月分の医療機器・消耗品申請について報告 感染対策補助金にて購入品について報告 輸液・シリンジポンプ定期点検延期について報告 人工呼吸器ベネット廃棄について報告
11	令和4年2月24日	前回承認された医療機器について報告 2月分の医療機器・消耗品申請について報告 人工呼吸器ベネット廃棄について報告 医療消耗品包装変更について報告 経鼻エアウェイ納期遅延の案内について報告 人工呼吸器サーボエアー定期交換部品について報告 人工呼吸器警報アラームについて報告
12	令和4年3月24日	前回承認された医療機器について報告 3月分の医療機器・消耗品申請について報告 輸液ポンプ・シリンジポンプ定期点検実施について報告 血糖測定器定期点検実施について報告 cobas Liat PCR 遺伝子検査装置バージョンアップについて報告 人工呼吸器サーボエアーメンテナンス期間について報告 令和4年度医療器材管理委員会開催日について報告

4. 活動要約

- ・医療器材等新規購入の採否に関して審議。
- ・既採用医療材料等の削除に関して調査・報告・審議。
- ・医療器材等の試用に関して報告・審議。
- ・医療器材等の適正な使用及び安全管理に関して調査・報告・審議。
- ・医療器材等の更新に関して調査・報告・審議。
- ・委員会概要（要綱）の改定を行い、リハビリテーション部1名の要員追加。
- ・COVID-19の影響により感染対策用機器の確保と、適正な設置及び使用に関して報告。
- ・COVID-19の影響による物資供給不安定のため、感染対策用消耗品の確保と適正な使用及び安全管理に関して調査・報告・審議。
- ・令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大・医療提供体制確保支援補助金に関して報告。
- ・新型コロナウイルス感染症患者に必要な人工呼吸器無償譲渡に関して報告。

感染対策委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医療関連感染防止のために、耐性菌検出状況・抗菌薬の使用状況を把握し院内感染対策の業務が適正に遂行されているかを審議することを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤	(病院長)		
メンバー	清野 聡	(副院長・感染対策室長)	萩井 譲士	(副院長)
	樋口 三枝子	(看護部長)	工藤 正弘	(医療安全推進室副室長)
	算用子 暁美	(リハビリテーション部技師長)	齊藤 恵美	(臨床検査技師長代行)
	鳥谷部 翔	(薬剤師長)	倉内 寿孝	(主任薬剤師)
	花田 和大	(薬剤師)	古川 栄	(臨床検査技師)
	野沢 正人	(事務部長)	中田 智子	(感染対策室副室長) ※
	山口 美樹	(主任看護師代行)	飯田 哲子	(看護師)

※院内感染管理者

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月15日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
2	令和3年5月19日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
3	令和3年6月16日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について

4	令和3年7月21日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
5	令和3年8月18日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
6	令和3年9月15日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について インフルエンザワクチン接種について
7	令和3年10月20日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について インフルエンザワクチン接種について
8	令和3年11月17日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
9	令和3年12月15日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
10	令和4年1月19日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について

11	令和4年1月25日 (臨時)	職員より新型コロナウイルス感染症が確認された件について 現在の状況報告 感染者と病棟の状況確認 新型コロナウイルス感染症の検査キットの在庫確認 検査対象の検討 院内の対応について
12	令和4年1月31日 (臨時)	職員より新型コロナウイルス感染症が確認された件について 現在の状況報告 濃厚接触者の定義について 入院患者の移動制限について 職員の就業制限について 新型コロナウイルス感染症の検査キットの在庫確保について 看護職員の人材確保について
13	令和4年2月16日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
14	令和4年3月16日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について

院内感染防止対策研修会

回	開催日	内 容
1	令和3年4月1日～6月4日	個人防護用具について
2	令和3年11月1日～11月14日	COVID-19 ワクチン PPE と手指消毒の重要性

4. 活動要約

・感染情報レポートの評価・検討

院内感染報告患者と報告細菌数を可視化。

細菌報告後は早期に介入を行い結果も含め報告し、注意点などをフィードバックしている。

委員会で検討・注意喚起を行う事で感染防止に繋がっている。

・薬剤室より、抗菌薬・消毒剤使用状況報告

抗菌薬使用状況などから、病棟毎の特殊性を把握し感染症に関する治療や抗菌薬使用を可視化する事で、感染状況や治療に繋げる事が出来ている。

今後は、抗菌薬使用状況から適正使用であるかなども介入する指標作成を行う。

・I C Tよりラウンド状況報告

院内環境巡視を通し、院内の感染対策実施状況の把握が出来ている。

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の流行に伴い、職員に対し、マスク、アイガードの正しい着用について指導。各部署でマスク、アイガードの装着状況を評価し問題点の改善を図ることが出来た。次年度も継続。

- ・新興感染症に関する感染対策

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の流行に伴い、院内で感染症患者が発生した場合の対応を検討し、各管理者へシミュレーション指導を行った。医療提供場面において適切な対応ができるように継続して指導していく。

- ・院内感染防止対策研修会（年2回）

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の流行を踏まえて必要な研修を実施。感染対策として第1回目は研修会1回あたりの人数を制限し、複数回にわたり集合研修を行い、第2回目はカルテ端末を利用した学習を行った。今後も現場の声を踏まえた研修を行っていく。

栄養管理委員会

1. 活動目的

病院給食が合理的に運営されるために栄養管理委員会を開催し、患者の適正な栄養管理を行い、医療の質の向上を計ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	佐々木 都子（内科部長・リハビリテーション部長）		
委 員	世永 壮	（薬剤師）	熊澤 ゆかり（主任臨床検査技師）
	高阪 理恵	（看護師）	谷澤 美和（看護師）
	今井 真子	（看護師）	荒谷 真貴（看護師）
	宮野 麻莉	（看護師）	小野 真矢子（看護師）
	佐藤 輝美	（看護師）	對馬 周子（看護師）
	工藤 江理香	（看護師）	成田 理紗（言語聴覚士）
	角田 七海	（医事係医事担当）	鳴海 悦子（管理栄養士長）
	大川 みこと	（管理栄養士）	船水 亜巳（管理栄養士）
	須藤 のどか	（管理栄養士）	小笠原 理紗（管理栄養士）
	三橋 義宗	（管理栄養士・日清医療食品）	

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月7日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 新年度の栄養管理委員会・NST委員構成について 行事食について（こどもの日）
2	令和3年5月6日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 春の食事会について 食中毒予防・感染対策について
3	令和3年6月2日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 春の食事会総評 行事食について（七夕）

4	令和3年7月7日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告
5	令和3年8月4日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 衛生管理について
6	令和3年9月1日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食について（敬老の日、十五夜、秋分の日）
7	令和3年10月6日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 秋の食事会総評 備蓄粥について
8	令和3年11月4日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 青森県NST研究会案内 行事食について（クリスマス）
9	令和3年12月1日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 クリスマス食事会総評 行事食について（冬至、大晦日、元旦） 感染症の注意喚起（手洗い、うがい）
10	令和4年1月5日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 クリスマス食事会総評 感染症、食中毒対策の再確認

11	令和4年2月2日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食（節分、バレンタイン） 栄養剤の変更について
12	令和4年3月2日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食について（ひなまつり、春分の日） 次年度の食事会・栄養教室日程 次年度の栄養管理委員会・NSTの委員構成について

【主な行事】

開催日	内 容
令和3年6月1日	春の食事会
令和3年10月5日	秋の食事会
令和3年12月21日	クリスマス食事会

4. 活動要約

- ・食事会や行事食は例年通り実施。
- ・個人栄養指導件数は前年比と同様、集団栄養指導件数は前年比より減少している。

褥瘡対策委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける院内褥瘡対策を討議・検討し、その効率的な推進を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	岩田 学	(医局長・副院長代行)		
副委員長	桑村 美佳	(主任看護師)		
メンバー	樋口 三枝子	(看護部長)	齋藤 恵	(看護師)
	清藤 一輝	(薬剤師)	工藤 未稀	(看護師)
	大川 みこと	(管理栄養士)	田川 早苗	(看護師)
	長谷川 国俊	(副アドバイザー・理学療法士)	板垣 充子	(看護師)
	吹田 愛莉	(リハ主任代行・作業療法士)	梶浦 枝里奈	(看護師)
	菊池 真	(企画運営課主任)	小田桐 敦	(准看護師)
	佐々木 大聖	(企画運営係)	須藤 恵美子	(看護師)
	斎藤 堅太	(医事係医療情報担当)	福士 真美	(看護師)
			伊藤 佳子	(看護師)
			齊藤 和恵	(看護師)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月14日	4月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 3月分のリスク因子の評価について報告
2	令和3年5月12日	5月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 4月分のリスク因子の評価について報告 規定変更（構成員の修正）について報告
3	令和3年6月9日	6月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 5月分のリスク因子の評価について報告 テンプレート（褥瘡経過評価）の更新について報告
4	令和3年7月14日	7月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 エアマット1台購入を報告 6月分のリスク因子の評価について報告 テンプレート（褥瘡経過評価）運用開始について報告

5	令和 3 年 8 月 4 日	8 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 7 月分のリスク因子の評価について報告
6	令和 3 年 9 月 8 日	9 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 エアマット 1 台購入を報告 8 月分のリスク因子の評価について報告
7	令和 3 年 10 月 13 日	10 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 エアマット 2 台購入を報告 9 月分のリスク因子の評価について報告
8	令和 3 年 11 月 10 日	11 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 10 月分のリスク因子の評価について報告
9	令和 3 年 12 月 8 日	12 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 エアマット 1 台修理を報告 11 月分のリスク因子の評価について報告
10	令和 4 年 1 月 12 日	1 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 12 月分のリスク因子の評価について報告 サージカルマスク装着患者の耳介部褥瘡について報告 委員会メンバー変更について報告
11	令和 4 年 2 月 9 日	2 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 エアマット 1 台購入を報告 褥瘡対策セミナーオンライン開催について報告 来年度診療報酬改定による診療計画改定案について報告
12	令和 4 年 3 月 9 日	3 月褥瘡患者について報告 エアマット 1 台購入を報告 2 月分のリスク因子の評価について報告 体位交換枕総在庫について報告 エアマット総在庫数について報告 来年度褥瘡対策委員会開催日について報告 令和 3 年度褥瘡委員活動の総括について報告

4. 活動要約

- ・ 定例委員会において、各病棟での褥瘡発生状況と治療経過について確認と検討。
- ・ 定例委員会において、エアマット及び体位交換枕等の使用状況について確認。
 - 1) リハスタッフ、栄養士、薬剤師がその専門性を生かし、予防や栄養補助食品、薬剤に関する情報を積極的に提供。
 - 2) 褥瘡に関する学会や研修会への参加を促進。

- 3) 定例委員会で勉強会を開催。
- 4) 褥瘡に関する病棟スタッフ間での質問や話し合いが活発になるように、褥瘡対策委員が積極的に啓蒙活動を行う。

臨床検査適正化委員会

1. 活動目的

本委員会は、当院において臨床検査を適正かつ円滑に遂行するための検討を行うことを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	萩井 譲士	(副院長)		
メンバー	鎌田 孝篤	(病院長)	清野 聡	(副院長)
	中山 登美子	(臨床検査技師)	倉内 寿孝	(主任薬剤師)
	中田 智子	(感染対策室副室長)	工藤 正弘	(医療安全推進室副室長)
	齋藤 理恵	(医事課長)	永井 莉央	(医事係医事担当)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月21日	生化学自動分析装置新機種設置について 第156回エームス尿検査成績管理プログラム実施 レニン・アルドステロン測定・オーダーについて
2	令和3年5月19日	精度管理結果報告 バイオ・ラッド血液型リーダーBanjoの清掃・点検実施 自動免疫測定装置点検実施
3	令和3年6月16日	精度管理結果報告 血液ガス分析装置ソフトウェア更新 生化学定期点検延期について TSHの基準値変更について
4	令和3年7月21日	精度管理結果報告 生化学検査点検実施 心電図の不具合について エコー(フィリップス・HD15・CX50)の点検実施 生化学自動分析装置定期点検実施
5	令和3年8月18日	検査項目の基準値・検査方法の変更について
6	令和3年9月15日	精度管理実施報告 エコー装置のエラーについて
7	令和3年10月20日	精度管理実施 試薬庫の冷風機温度調節実施について 職員健診の採血項目追加について
8	令和3年11月17日	PCR検査開始について
9	令和3年12月15日	血液ガス分析装置ソフトウェア更新 フェリチンの院内測定開始について ホルター血圧計のエラーについて 検査機器の更新・点検実施

10	令和4年 1 月 19 日	検査項目の基準値変更について アルドステロン・レニン活性比の報告について
11	令和4年 2 月 16 日	精度管理結果報告 生化学自動分析装置部品交換実施
12	令和4年 3 月 16 日	精度管理結果報告

3. 活動要約

- ・ 検査データの精度の向上に努める。
- ・ 最新の検査項目の提供。
- ・ 検査機器の保守、新機種の検討。
- ・ 研究活動。
- ・ 治験への参加協力。

薬事審議委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医薬品の採用及び削除に関して審議し、医薬品適正使用を目的に活動するものである。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長 馬場 佳子（内科部長・薬剤室長）
 委員 内沢 隆充（副院長）
 清野 聡（副院長・医薬品安全管理室長・感染対策室長）
 藤田 尚子（医薬品情報室副室長）
 鳥谷部 翔（薬剤師長）【事務局】
 野沢 正人（事務部長）
 齋藤 理恵（医事課長）
 今 基 （企画運営課長）

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和 3 年 4 月 12 日	規定、委員変更の確認 採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 小林化工、日医工関連情報について 流通不良品、出荷調整品について
2	令和 3 年 5 月 10 日	採用申請状況、患者限定採用⇒本採用への検討、 デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 小林化工、日医工関連情報について 流通不良品、出荷調整品について
3	令和 3 年 6 月 14 日	採用申請状況、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 小林化工関連情報について 流通不良品、出荷調整品について
4	令和 3 年 7 月 12 日	出荷調整による P P I 注射剤及び D P P 4 阻害剤の本採用検討、 採用申請状況、デッドストック使用動向確認、後発医薬品採用割合報告 流通不良品、出荷調整品について
5	令和 3 年 8 月 23 日	採用申請状況、デッドストック使用動向確認、 後発医薬品採用割合報告 流通不良品、出荷調整品について

6	令和 3 年 9 月 13 日	採用申請状況、患者限定採用⇒本採用への検討、 デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 価格妥結状況について 流通不良品、出荷調整品について
7	令和 3 年 10 月 11 日	採用申請状況、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 価格妥結状況について 流通不良品、出荷調整品について
8	令和 3 年 11 月 15 日	採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 流通不良品、出荷調整品について
9	令和 3 年 12 月 13 日	患者限定採用⇒本採用への検討、後発医薬品採用検討 採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 流通不良品、出荷調整品について
10	令和 4 年 1 月 17 日	患者限定採用⇒本採用への検討、後発医薬品採用検討 採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 流通不良品、出荷調整品について
11	令和 4 年 2 月 18 日	採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 流通不良品、出荷調整品について
12	令和 4 年 3 月 14 日	患者限定採用⇒本採用への検討、後発医薬品採用検討 採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 流通不良品、出荷調整品について

4. 活動要約

- ・ 事務局である薬剤室薬剤師が各製造販売会社ホームページ、MR 訪問、添付文書やインタビューフォームなどから情報を入手、資料を作成し薬事審議委員会にて審議する。
- ・ 県内医療機関の採用状況及び流通を定期的に聴取し評価する。
- ・ 採用中の先発医薬品の中で①適応に違いがない、②形状や大きさが先発と似ている、③後発医薬品のみの特徴がある、など変更可能と考えられる医薬品を積極的に後発品に切り替える。新規採用の場合でも可能であれば後発医薬品とする。
- ・ 新規採用薬、採用変更及び中止薬を院内に回覧し周知する。
- ・ デッドストック情報を毎月共有し不動態在庫にならないようにする。
- ・ 後発医薬品採用割合を毎月確認する。
- ・ 問題発生があれば速やかに薬事審議委員会に報告し採用継続の適否を検討する。

診療記録管理委員会

1. 活動目的

診療記録等の診療情報資料を適正かつ効率的に管理し、診療情報管理業務の円滑な運営を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤	(病院長)
委員	鳥谷部 翔	(薬剤師長)
	佐藤 奈奈	(看護師長)
	小野 るり子	(主任看護師)
	小野 公久	(リハ主任・作業療法士)
	小比類巻 顕子	(リハ主任・理学療法士)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)
	熊澤 ゆかり	(主任臨床検査技師)
	鳴海 悦子	(管理栄養士長)
	齋藤 理恵	(医事課長)
	鳴海 佳織	(医事課係長医師補助担当)
	葛西 志保	(医事課主任医師補助担当)
	奈良 麻里	(医事課主任医師補助担当)
	小田桐 珠美	(医事係医師補助担当)
	佐々木 哲裕	(医事課係長医事担当)【診療記録管理者】

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月2日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 カルテ開示料金の改定について 認知症ケア加算の算定について
2	令和3年5月7日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 捜査関係事項の照会について
3	令和3年6月4日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 病院内での撮影・録音について 新型コロナワクチン接種に当たっての診療録の作成について
4	令和3年7月2日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 病院内での撮影・録音について（前回続き） 施設基準に係る疾病統計について（診療録管理体制加算）

6	令和3年9月3日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 病院内での撮影・録音について（前回続き） 紙カルテ保管用フォルダーの一部変更について
7	令和3年10月1日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 訪問看護指示書の様式変更について
8	令和3年11月5日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 訪問看護指示書の様式変更について サイバーセキュリティへの対応について
9	令和3年12月3日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 サイバーセキュリティへの対応について 交通事故による診断書対応の報告
10	令和4年1月7日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 サイバーセキュリティへの対応について リハビリ実施経過などの署名の簡素化について
11	令和4年2月4日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 令和4年度改定への対応について
12	令和4年3月4日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 褥瘡対策の見直しについて（令和4年度改定） 診療録管理体制加算の見直し（令和4年度改定） リハビリテーション実施計画書の署名欄取り扱いの見直し（令和4年度改定） 処方箋の様式変更（令和4年度改定） 診療記録等の廃棄について

4. 活動要約

- ・不備があると考えられる診療記録について、提案し改善に努めた。

電子保存システム管理委員会

1. 活動目的

弘前脳卒中リハビリテーションセンターに電子保存システム管理委員会を設け、診療録および電子保存システムの適正な管理、運用を行うことを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	内沢 隆充 (副院長)	
メンバー	佐藤 奈奈 (看護師長)	三浦 康彦 (理学療法室副室長)
	齋藤 信一 (作業療法室副室長)	鳥谷部 翔 (薬剤師長)
	鳴海 悦子 (管理栄養士長)	熊澤 ゆかり (主任臨床検査技師)
	川村 隆行 (診療放射線技師長)	立林 修 (事務部次長)【運用責任者】
	齋藤 堅太	今田 信之
	(医事係医療情報担当) システム管理者	(医事課主任医療情報担当) システム管理者
オブザーバー	シグマソリューションズ	

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月7日	ネットワーク機器 部品交換に伴うシステム停止について
2	令和3年5月12日	院内 LAN サーバ 保存容量の逼迫について
3	令和3年6月2日	院内 LAN サーバ 保存データ削除について(看護部・リハビリ部)
4	令和3年7月7日	ホスティングサーバ メール受信エラーについて
5	令和3年8月4日	院内 LAN サーバ 保存データ削除について(事務部・中央診療部)
6	令和3年9月1日	ネットワーク障害による全館システム停止について
7	令和3年10月6日	電子カルテ端末 通信速度の遅延について
8	令和3年11月10日	旧電子カルテ端末の撤去について
9	令和3年12月1日	臨床検査システム ハードウェア更新について
10	令和4年1月5日	ネットワーク機器の更新について(2022年度予定)
11	令和4年2月2日	薬剤システム(注射システム) ハード障害発生について
12	令和4年3月2日	電子カルテ バージョンアップ作業について 電子カルテシステムの更新について(2022年度予定) 診療記録管理委員会・電子保存システム管理委員会の統合について

4. 活動要約

電子カルテを始め各システム等の問題点の改善、運用案についての検討。

DPCコーディング委員会

1. 活動目的

本委員会は、標準的な診断及び治療方法の周知を徹底し、適切なコーディング（適切な診断を含めた診断群分類の決定をいう。）を行う体制を確保することを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤（病院長）
メンバー 医局	萩井 譲士（副院長）
	清野 聡（副院長）
中央診療部	鳥谷部 翔（薬剤師長）
看護部	樋口 三枝子（看護部長）
	小田桐 千代（看護師長）
	山田 まり子（看護師長）
事務部	齋藤 理恵（医事課長）
	佐々木 哲裕（医事課係長医事担当）【診療記録管理者】

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年5月24日	データ提出加算算定件数報告 コーディング疑義について アルツハイマー型認知症の分類について
2	令和3年8月23日	データ提出加算算定件数報告 詳細不明コードの割合推移について
3	令和3年11月22日	データ提出加算算定件数報告 詳細不明コードの割合推移について データ作成における今後の動向について ICD11改定について
4	令和4年3月22日	データ提出加算算定件数報告 詳細不明コードの割合推移について 令和4年度改定における変更点について

4. 活動要約

サマリをはじめとした診療記録及びデータ提出における入力内容の確認。

倫理委員会

1. 活動目的

本委員会は、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医学・医療の倫理的問題について協議するとともに、病院長又は医療部長の諮問を受けて、当院に所属する者が当院において行う医療行為、医学研究及び教育等が医の倫理に関するヘルシンキ宣言等の趣旨に沿って倫理的配慮の下に行われるか審査する。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長 内沢 隆充 (副院長)
メンバー 清野 聡 (副院長)
岩田 学 (医局長・副院長代行)
樋口 三枝子 (看護部長)
【病院外部の学識経験者】
弘前大学大学院保健学研究科看護学領域
教授 長内 智宏
青森県立保健大学健康科学部理学療法学科
准教授 勘林 秀行
社会保険労務士 石塚 紀子
【事務局】
盛 啓介 (庶務課係長)
田中 結菜 (庶務課主任)
外崎 春香 (医学研究室)

3. 活動記録

A 審議あり (変更申請を除く新規申請のみ表示)

承認日	研究名	申請者
令和3年4月15日	脳卒中患者における予測的姿勢調節に関連する評価指標の活用性に関する検討	理学療法士 齋藤 祐希
令和3年11月16日	対象者への教示内容の違いが立ち上がり動作に及ぼす影響に関する研究	理学療法士 小田桐 怜
令和3年9月14日	非弁膜症性心房細動合併頸動脈ステント留置術における周術期抗血栓療法と合併症の実態の把握	内科部長 齋藤 新
令和3年10月21日	頭蓋内出血を発症した心房細動患者の早期凝固療法に関する安全性及び有効性の検討	副院長 萩井 譲士
令和3年11月10日	脳卒中患者に対して仮想現実を使用し歩行速度誤認識を形成させたトレッドミル後進歩行介入の効果に関する研究	理学療法士 田口 惇
令和3年11月10日	非麻痺側下肢拘束下の歩行における脳活動の変化	理学療法士 阿部 愛

令和 4 年 1 月 27 日	脳卒中関連肺炎（SAP）に対する早期口腔ケアと早期離床の効果	リハビリテーション科部長 岩田 学
令和 4 年 1 月 27 日	視床出血後の歩行自立の予後予測	リハビリテーション科部長 岩田 学

B 審議を必要としないもの（委員長決裁）

承認日	研究名	申請者
令和 3 年 8 月 11 日	HELT-E ₂ S ₂ スコアの心原性脳梗塞栓症機能予後へ与える影響	内科副部長 白戸 弘志
令和 3 年 11 月 5 日	潜因性脳梗塞、塞栓源不明脳塞栓症に対する観察研究	内科部長 齋藤 新

4. 活動要約

- ・倫理審査は、紙上にて実施し、各委員が審査の上、必要に応じて申請者へ質問、指摘を行った。
また、不備な点については、修正、追加の上再申請を求めた上で再審査した。
- ・令和 3 年度 新規研究申請件数
審議あり：8 件、審議なし（委員長決裁）：2 件
※申請された研究はすべて承認

衛生委員会

1. 活動目的

衛生委員会の構成、運営、調査審議事項などを定め、衛生管理活動の円滑な推進を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤	(病院長)
	高橋 広希	(内科部長・産業医)
	清野 聡	(副院長・衛生管理者)
	野沢 正人	(事務部長)
	樋口 三枝子	(看護部長)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)
	算用子 暁美	(リハビリテーション部技師長・作業療法士)
	山本 賢雅	(理学療法室長)
	中田 智子	(感染対策室副室長)
	嵯峨 望	(庶務課主任)
	立林 修	(事務部次長・庶務課長代行) 【事務局】

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月28日	感染症罹患状況、労災事故（昨年度件数、過年度推移）について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について 春の健康診断実施について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 産業医の巡回（医学研究室、物品管理室、ごみ収集庫、不潔リネン庫）他について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
2	令和3年5月26日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について 春の健康診断、昨年度有所見者再受診率について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 産業医の巡回（臨床検査室、生理検査室、放射線室）他について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 中央材料室の熱中症対策、モニタリングについて
3	令和3年6月30日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 春の健康診断の実施状況について 産業医の巡回（医局、薬剤室、D I 室）他について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について

4	令和 3 年 7 月 28 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、研修会）について 産業医の巡回について（栄養室、厨房、事務室、医療相談室） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
5	令和 3 年 8 月 25 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、研修会）について 産業医の巡回（施設管理課、ボイラー室・機械室、屋上）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 放射線管理に関する自主点検について 浴室等の熱中症対策、モニタリングについて
6	令和 3 年 9 月 29 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、研修会）について 秋の健康診断実施について 産業医の巡回（5 病棟、感染対策室）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
7	令和 3 年 10 月 27 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用）、研修会開催について 秋の職員健診（項目追加、基準変更）、ストレスチェックについて 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
8	令和 3 年 11 月 24 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診、ストレスチェック実施状況について 産業医の巡回（1 病棟）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
9	令和 3 年 12 月 22 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診、ストレスチェック実施状況について 産業医の巡回（3 病棟、4 病棟）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
10	令和 4 年 1 月 26 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について ストレスチェック実施結果について 産業医の巡回（2 病棟、中材）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について

11	令和 4 年 2 月 25 日	感染症罹患状況、労災事故（転倒骨折への対策等）について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 産業医の巡回（居宅・訪問リハ・地域連携室、1 階リハ室、歯科） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 職員健診（春・秋）の結果報告について
12	令和 4 年 3 月 24 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について

4. 活動要約

- ・事業者側と雇用者側からの委員構成で職場環境の点検と対策について検討した。
- ・感染症罹患状況、新型コロナウイルス関連の就労制限について把握。感染対策の徹底により、今年度も昨年度同様インフルエンザ罹患者はゼロだった。
- ・前年度に引き続き、冬の路面凍結による転倒事故防止対策として、職員通用口付近に融雪および電気マットを敷き、注意喚起の回覧、掲示を実施した。1 名骨折者あり、再度の注意喚起を行った。
- ・高室温となる箇所については、昨年から継続して熱中症計によるモニタリングを行った。懸案であった中央材料室については業務委託により室温上昇が抑えられ、改善が見られた。
- ・労災事故件数 骨折 1 件、打撲捻挫 6 件、針刺し 2 件、その他 4 件と昨年度より件数は減少したが、打撲・捻挫の件数が直近 5 年間で最多であった。
- ・産業医の巡回による職場環境の点検および指摘事項の検討をした。
- ・今年度より放射線被ばく防止の対応、健康管理について現況報告をすることとした。今後も随時報告し、把握と管理に努める。
- ・健康診断で所見のあった職員へのフォローアップをした。
春の受診者数 169 名、指示人数 29 名（17.2%）
秋の受診者数 467 名、指示人数 35 名（7.5%）
- ・時間外労働（長時間労働者）については、月 80 時間超の該当者が令和 4 年 1 月に 1 名あり。一時的な業務量増加によるものとの理由で、当該職員より産業医による医師面談を希望しない旨の申し出があり、面談実施なし。
- ・メンタルヘルスケアについて年 1 回の研修会の実施
新型コロナウイルスの感染対策のため、資料による学習研修とした。
厚労省こころの耳 e-learning（PDF）を活用→受講完了 408 名
- ・ストレスチェックの実施の結果：受検率 99.6%、受験者に占める高ストレス判定者の割合 15%

部署代表者委員会

1. 活動目的

本委員会は、当財団が少しでも働きやすい環境となるよう、就業規則等の作成・変更にあたっての意見や要望を職員から聴取・集約した上で、財団との交渉や、財団が必要とする意見交換に応じ、法令で定められた書面による財団との協定の締結・変更及び解約を行うことを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	診療部代表	川村 隆行	(診療放射線技師長)
メンバー	医局代表	白戸 弘志	(内科副部長)
	看護部代表	工藤 晃	(主任看護師)
		吉田 美奈	(主任看護師)
	リハビリテーション部代表	須藤 真史	(アドバイザー・理学療法士)
		齋藤 曜子	(リハ主任代行・作業療法士)
	事務部代表	飯塚 聖貴	(施設管理課係長代行)

3. 委員会開催記録

回	日付	内 容
1	令和3年5月14日	委員長が職員代表者として適任であるか各部署に確認するための書面を回覧した
2	令和3年5月24日	5月14日付で回覧した書面を回収・確認した結果、過半数以上の職員から賛同を得られたことを各部署へ文書にて報告した
3	令和3年7月27日	就業規則等の一部改正について意見を文書で提出するよう財団より委員会へ依頼あり⇒委員会から異議なし
4	令和3年9月1日	薬剤に関する電話での問い合わせ(時間外に限る)に対応する薬剤師に対し、毎月待機当番手当を支給する内容の覚書を財団と締結した
5	令和4年3月11日	看護師・准看護師・看護助手(学生は除く)に対し、毎月看護職員等処遇改善手当を支給する内容の協定書を財団と締結した
6	令和4年3月29日	令和4年度の時間外労働及び休日労働に関する労使協定書を弘前労働基準監督署へ届出したことを財団より報告を受けた

4. 活動要約

前年度に引き続き今年度も新型コロナウイルスが世界的に流行し、それに伴い、地域でコロナ医療など一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員を対象に、令和3年度国補正予算「看護職員等処遇改善補助金」により支払われる賃金の名称を看護職員等処遇改善手当とし、支給対象となる職員には当制度が廃止されるまで毎月手当にて支給されることで、少しでもコロナ関連での業務負担軽減に役立つことを期待している。

また、委員会としては院内に設置している意見箱を多くの職員に活用して頂き、労働環境の整備を微力ながらも計画・実行していきたいと考えている。

教育研修委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける職員の学習を奨励し、①職業人として自己を研鑽する姿勢を身につける、②医療人として患者のために奉仕する心を学ぶ、③プロフェッショナルとして個々の知識、スキルを高めるための支援、及び環境調整をするものである。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	馬場 佳子	(内科部長)		
副委員長	工藤 留美子	(副看護部長)		
メンバー	鳥谷部 翔	(薬剤師長)	熊澤 ゆかり	(主任臨床検査技師)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)	鳴海 悦子	(管理栄養士長)
	大川 麻美	(看護師長)	成田 幸英	(看護師長代行)
	中村 学人	(リハ主任代行・理学療法士)	木村 勇貴	(リハ主任代行・作業療法士)
	池上 友紀子	(リハ主任・言語聴覚士)	宇佐美 夏希	(医療相談員)
	齋藤 佑夏子	(医療相談員)		
	奈良 麻里	(医事課主任医師補助担当)	佐藤 暢子	(財務経理課長)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月16日	看護部・リハ部の教育研修計画について他
2	令和3年5月28日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
3	令和3年6月25日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
4	令和3年7月16日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
5	令和3年8月27日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
6	令和3年9月24日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
7	令和3年10月22日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
8	令和3年11月26日	紙上開催（来年度の戦略的人材育成費依頼）
9	令和3年12月24日	紙上開催（来年度の学会研修旅費予算案について、来年度の戦略的人材育成費決定の報告）
10	令和4年1月28日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
11	令和4年2月25日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
12	令和4年3月25日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）

4. 活動要約

- ・出張旅費と学術助成の計画と執行状況の確認をした。
- ・戦略的人材育成費の内容と学会研修旅費の予算を検討し、決定した。
- ・メディカルスタッフ勉強会・施設間勉強会は新型コロナウイルスの状況により中止となった。
- ・新型コロナウイルスの影響により、主だった活動が出来なかった。

施設運用委員会

1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター(以下「センター」という。)における施設運用についての意見及び要望について検討し、その適正化を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長 清野 聡 (副院長)
 メンバー 樋口 三枝子 (看護部長)
 算用子 暁美 (リハビリテーション部技師長)
 川村 隆行 (診療放射線技師長)
 野沢 正人 (事務部長)
 工藤 博人 (施設管理課長)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月8日	点検表の配布について 2020年度総括 他
2	令和3年5月13日	部屋の点検表について審議検討した 空調更新について、薬剤倉庫の不足 他
3	令和3年6月3日	部屋の点検表について審議検討した 4Fアトリウム、5病棟リハ室遮光カーテン設置 他
4	令和3年7月1日	【紙上会議】部屋の点検表について審議検討した 空調(ACP-7系統)更新、バックアップ空調の設置工事 他
5	令和3年8月5日	【紙上会議】部屋の点検表について審議検討した 特殊浴室タイル補修 他
6	令和3年9月2日	【紙上会議】部屋の点検表について審議検討した 空調(ACP-1・8系統)更新工事 4病棟ストレッチャー置き場 他
7	令和3年10月7日	今年度2回目の点検表配布について 身障者用駐車場、職員駐車場の運用 他
8	令和3年11月4日	部屋の点検表について審議検討した 医療廃棄物保管庫の鍵の運用 他
9	令和3年12月2日	部屋の点検表について審議検討した コンセント増設工事(3ヶ所)、VCT交換に伴う停電対応(東北電力)他
10	令和4年1月6日	部屋の点検表について審議検討した 倉庫の不足について、エコー室のシクについて 他
11	令和4年2月3日	【紙上会議】部屋の点検表について審議検討した 部屋のCO2濃度測定、VCT交換工事(東北電力) 他
12	令和4年3月3日	【紙上会議】部屋の点検表について審議検討した エコー室のシクについて 他

4. 活動要約

- ・窒素ガスボンベの撤去
- ・特殊浴室のタイル、目地の修繕
- ・空調設備の更新工事(EHP、ACP-7 系統)、バックアップ用空調の設置
- ・4 病棟アトリウムに遮光カーテンの設置
- ・空調設備の更新工事(KHP→EHP、ACP-1・8 系統)
- ・5 病棟リハビリ室に遮光カーテンの設置
- ・エントランスホール(受付廻り)にコンセント増設(3 ヶ所)
- ・身障者用駐車スペースの運用
- ・職員駐車場の運用
- ・医療廃棄物保管庫の鍵の運用(回復期病棟)
- ・計器用変成器(VCT)交換工事(東北電力依頼)

広報委員会

1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター(以下「センター」という。)の医療情報の広報を的確に推進するため、センターに広報委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	佐々木 都子（内科部長）
メンバー	樋口 三枝子（看護部長）
	算用子 暁美（リハビリテーション部技師長）
	鳥谷部 翔（薬剤師長）
	盛 啓介（庶務課係長）
	田中 結菜（庶務課主任）

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月19日	現ホームページについて ・ 部署紹介、リクルート情報の更新等 新ホームページについて ・ スマホ対応にするため、業者とコンテンツ等の見直しを検討 ・ （リハ部門より）統一様式の履歴書を作成し、夏頃にホームページに掲載したい 年報作成について ・ ホームページに掲載するため簡易な内容にし、完成時期を早めたい
2	令和3年5月17日	年報作成の進捗について 新ホームページについて ・ 業者と打ち合わせ ・ 履歴書については委員長より財団事務局へ検討を依頼した
3	令和3年6月21日	新ホームページについて ・ 業者と打ち合わせ
4	令和3年7月19日	現ホームページについて ・ 部署紹介の進捗報告 年報について ・ 未作成の委員会があり催促している ・ 入力内容を確認するため委員会内で回覧することを検討 履歴書の進捗について ・ 財団事務局で検討中で、採用試験までに間に合わせたいため9月までにホームページ掲載及び通知可能か確認する

5	令和 3 年 8 月 30 日	新ホームページについて ・業者 2 社のプレゼンテーション 年報の進捗について 履歴書について ・理事長、社労士へ確認の上、様式が承認決定されたので、今年度の採用試験から適用予定
6	令和 3 年 9 月 13 日	新ホームページについて ・プレゼンテーションの評価・検討事項について ・WEB 幹事より紹介業者 2 社あり 年報の進捗について 履歴書について ・現ホームページに掲載され、今年度の採用試験で順次適用
7	令和 3 年 10 月 11 日	新ホームページについて ・業者選定について 現ホームページについて ・履歴更新について ・年報の進捗について
8	令和 3 年 11 月 8 日	新ホームページについて（業者とオンラインで打合せ） ・デザイン、色、フォントについて検討 ・老健つがるのホームページについての検討
9	令和 3 年 12 月 17 日	新ホームページについて（業者とオンラインで打合せ） ・色、レイアウト、デザイン案、掲載する情報の精査 ・老健つがるのホームページのテンプレート案について
10	令和 4 年 1 月 7 日	新ホームページについて ・各ページの掲載項目とレイアウト、写真撮影、 ・老健つがるのホームページは 3 種類のテンプレート案から候補を決定
11	令和 4 年 1 月 21 日	新ホームページについて（業者とオンラインで打合せ） ・各ページの掲載項目とレイアウトについて ・写真撮影について ・次回打合せについて ・老健つがるのテンプレート決定案を報告
12	令和 4 年 1 月 24 日 （臨時打合せ）	新ホームページについて ・各ページの掲載項目とレイアウトについて ・写真撮影について ・次回打合せについて ・老健つがるのテンプレート決定案について報告
13	令和 4 年 2 月 4 日	新ホームページについて（業者とオンラインで打合せ） ・修正事項の確認 ・次回までの確認事項について

14	令和 4 年 3 月 16 日	新ホームページについて（老健つがるとオンラインで打合せ） ・ホームページの納品予定について ・検討事項について（トップページになる写真の選定、写真替えが必要なページ箇所の検討、納品後の写真撮影） ・サイトの使い方・機能について
----	-----------------	---

4. 活動要約

- ・ スマートフォンホーム対応のホームページにするためリニューアル作業、年報作成の審議検討した。
- ・ 年報第 8 号（令和 2 年度）が完成し、ホームページ上で公開した。

患者サービス委員会

1. 活動目的

本委員会は、各部門が連携協調を図り、業務の円滑な処理および効率性を確保することにより、病院を利用する患者および患者の家族等（以下患者等）へのサービス向上に資することを目的とする。

（内容）①患者等への対応サービスの向上に関すること。②患者等の院内活動にかかるサービス向上に関すること。③患者等からの苦情・意見の収集および対応に関すること。④ボランティアの受け入れおよび活動内容に関すること。⑤その他の医療サービスに関すること。

2. 構成員

委員長	萩井 譲士	（副院長）		
副委員長	佐藤 奈奈	（看護師長）	福山 美佳	（リハ主任・言語聴覚士）
アドバイザー	野沢 正人	（事務部長）		
委員	工藤 正弘	（医療安全推進室副室長）	関 晃治郎	（診療放射線技師）
	鳴海 悦子	（管理栄養士長）	漆沢 修治	（主任看護師代行）
	橋本 祐樹	（主任看護師代行）	佐藤 純子	（主任看護師代行）
	小田桐 史典	（看護師）	佐藤 愛	（主任看護師代行）
	吉田 美奈	（主任看護師）	小山 裕美	（リハ主任代行・理学療法士）
	佐々木 拜子	（リハ主任・作業療法士）	葛西 さくら	（医療相談員）
	葛西 志保	（医事課主任医師補助担当）	澤田 栞奈	（財務経理課主任）

3. 活動記録

回	開催日	内容
1	令和 3 年 4 月 15 日	3 月分退院時患者アンケート調査結果の報告 令和 3 年度規約・委員・活動予定の確認 病棟患者用トイレの杖立設置希望について
2	令和 3 年 5 月 20 日	4 月分退院時患者アンケート調査結果の報告 ゴミ拾い・接遇研修の日程等の確認 病棟患者用トイレの杖立設置希望について
3	令和 3 年 6 月 17 日	5 月分退院時患者アンケート調査結果の報告 ゴミ拾いの日程等の確認 病棟設置図書の管理・運用について 職員顔写真の病棟掲示について
4	令和 3 年 7 月 15 日	6 月分退院時患者アンケート調査結果の報告 活動報告（ゴミ拾い、七夕） 病棟設置図書の管理・運用について 2F アトリウムの患者作品スペースの管理について
5	令和 3 年 8 月 19 日	7 月分退院時患者アンケート調査結果の報告 接遇研修の日程等の確認

6	令和 3 年 9 月 16 日	8 月分退院時患者アンケート調査結果の報告 接遇研修の日程等の確認
7	令和 3 年 10 月 21 日	9 月分退院時患者アンケート調査結果の報告 規約の一部改訂、アドバイザー役として野沢部長加入 活動報告（接遇研修） コロナ面会制限下での患者・家族の不満について
8	令和 3 年 11 月 18 日	10 月分退院時患者アンケート調査結果の報告 クリスマスツリーの設置について 患者病室用カレンダーの管理について
9	令和 3 年 12 月 16 日	11 月分退院時患者アンケート調査結果の報告 患者病室用カレンダーの管理について 床屋予約時の留意点について
10	令和 4 年 1 月 20 日	12 月分退院時患者アンケート調査結果の報告 HP 更新に伴う「よくある質問」の掲載依頼について
11	令和 4 年 2 月 17 日	1 月分退院時患者アンケート調査結果の報告 令和 4 年度委員の選出について
12	令和 4 年 3 月 17 日	2 月分退院時患者アンケート調査結果の報告 令和 3 年度評価、令和 4 年度委員の決定について 患者アンケート投函ポストの増設について

4. 活動要約

【主な行事】

開催日	内容
令和 3 年 9 月 6 日～26 日	接遇研修（e-ラーニングビデオ研修） テーマ：「接遇マナーの基本「あいさつ」で変わるおもてなしの心（約 29 分）」 参加者：420 名（医局を除く）
令和 3 年 6～7 月	七夕飾りの設置・片づけ
令和 3 年 7 月 2 日	清掃活動（ゴミ拾い） 参加者：46 名
令和 3 年 11～12 月	クリスマスツリー飾りの設置・片づけ

【退院時患者アンケート（患者等からのご意見）】 ※別添参照

アンケート回答回収率 年間：19.4%

ご意見・ご不満の内容

- ・食事について（味付け、メニュー、量 等）
- ・医師・看護師他について（接遇・言葉遣い、説明不足、対応の遅さ 等）
- ・環境・設備について（室温・照明、トイレ環境、換気扇の騒音 等）
- ・その他：テレビ・冷蔵庫の利用料金について、ナースコールの対応について転倒事故を防ぐための説明の必要性について

【総括】

- ・計画した行事は予定通り実施できた。
- ・面会制限下で退院時患者アンケートの回収率が低かった為、協力いただけるよう患者・家族への声掛け、また投函しやすい場所にポストを新設する等、積極的に対応した。
- ・ご意見・ご不満に関して、真摯に受け止め、原因・状況を確認し再発防止に努め、サービス向上につなげた。
- ・環境・設備等に関して、施設管理部門と連携し解決を図り、安心安全な環境づくりに努めた。

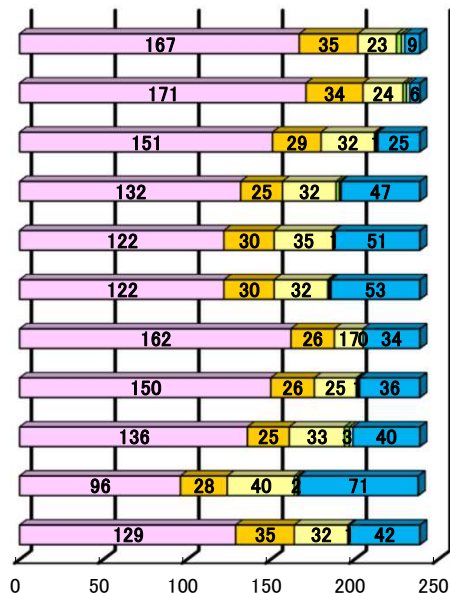
退院時患者様へのアンケート 調査結果 令和3年度 令和3年4月1日～令和4年3月31日

(年間集計)

(・回答者数: 239名 ・退院患者数: 1230名 ・回収率: 19.4%)

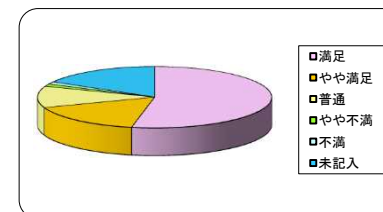
Q1. スタッフの対応サービスはどうか？

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
医師	167 69.9%	35 14.6%	23 9.6%	3 1.3%	2 0.8%	9 3.8%	239 100.0%
看護師	171 71.5%	34 14.2%	24 10.0%	2 0.8%	2 0.8%	6 2.5%	239 100.0%
病院受付	151 63.2%	29 12.1%	32 13.4%	1 0.4%	1 0.4%	25 10.5%	239 100.0%
薬剤師	132 55.2%	25 10.5%	32 13.4%	2 0.8%	1 0.4%	47 19.7%	239 100.0%
放射線技師	122 51.0%	30 12.6%	35 14.6%	1 0.4%	0 0.0%	51 21.3%	239 100.0%
検査技師	122 51.0%	30 12.6%	32 13.4%	1 1.9%	1 0.4%	53 22.2%	239 101.5%
訓練スタッフ	162 67.8%	26 10.9%	17 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	34 14.2%	239 100.0%
医療相談員	150 62.8%	26 10.9%	25 10.5%	1 0.4%	1 0.4%	36 15.1%	239 100.0%
栄養士	136 56.9%	25 10.5%	33 13.8%	3 1.3%	2 0.8%	40 16.7%	239 100.0%
売店スタッフ	96 40.3%	28 11.8%	40 16.8%	2 0.8%	1 0.4%	71 29.8%	238 100.0%
清掃スタッフ	129 54.0%	35 14.6%	32 13.4%	1 0.4%	0 0.0%	42 17.6%	239 100.0%

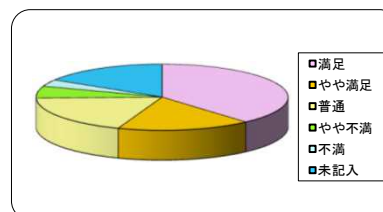


Q3. 食事の満足度について(治療食)

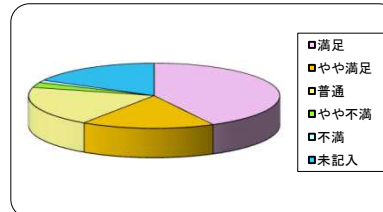
温度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
1 満足	127 53.1%						
2 やや満足	39 16.3%						
3 普通	27 11.3%						
4 やや不満	3 1.3%						
5 不満	3 1.3%						
6 未記入	40 16.7%						
計	239						100%



味付け	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
1 満足	92 38.5%						
2 やや満足	41 17.2%						
3 普通	45 18.8%						
4 やや不満	14 5.9%						
5 不満	8 3.3%						
6 未記入	39 16.3%						
計	239						100%

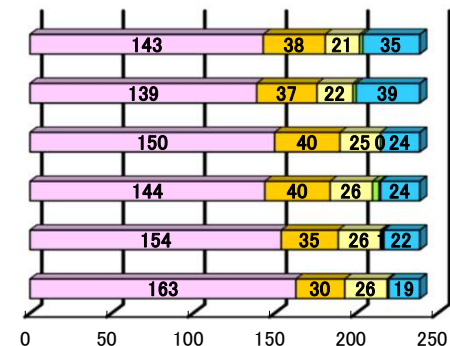


量	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
1 満足	101 42.3%						
2 やや満足	41 17.2%						
3 普通	47 19.7%						
4 やや不満	6 2.5%						
5 不満	3 1.3%						
6 未記入	41 17.2%						
計	239						100%



Q2. 当院の設備について

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
リハビリ施設	143 59.8%	38 15.9%	21 8.8%	2 0.8%	0 0.0%	35 14.6%	239 100.0%
入浴設備	139 58.2%	37 15.5%	22 9.2%	2 0.8%	0 0.0%	39 16.3%	239 100.0%
トイレの清潔	150 62.8%	40 16.7%	25 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	24 10.0%	239 100.0%
冷暖房設備	144 60.3%	40 16.7%	26 10.9%	4 1.7%	1 0.4%	24 10.0%	239 100.0%
室内環境 (広さ、照明)	154 64.4%	35 14.6%	26 10.9%	1 0.4%	1 0.4%	22 9.2%	239 100.0%
院内の清潔	163 68.2%	30 12.6%	26 10.9%	1 0.4%	0 0.0%	19 7.9%	239 100.0%



レクリエーション委員会

1. 活動目的

本会は、一般財団法人黎明郷 職員間の交流を通じ、労働力の確保・定着・勤労意欲・能率の向上などの効果をもたらすことを目的とし、以下の活動をする。

- ・財団新入職員歓迎会に関する事。
- ・財団忘年会に関する事。
- ・ボウリング大会に関する事。
- ・その他、レクリエーション活動に関する事。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

委員長	医 局	清野 聡	(副院長)
メンバー	診療放射線室	川村 隆行	(診療放射線技師長)
	栄養室	須藤 のどか	(管理栄養士)
	外 来	工藤 江里香	(看護師)
	1病棟	佐々木 有沙	(看護師)
	2病棟	野呂 拓夢	(看護師)
	3病棟	古川 優希	(理学療法士)
	4病棟	工藤 夕花	(看護師)
	5病棟	西澤 諒	(理学療法士)
	事務部	菊池 あづさ	(庶務課主任)
	事務部	佐々木 静	(財務経理係)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月12日	新入職員歓迎会(延期)
2	令和3年5月10日	新入職員歓迎会中止となった場合の職員還元について検討
3	令和3年6月14日	新入職員歓迎会中止決定 ⇒職員還元【①お弁当 ②お菓子 ③お食事券】で決定。配布に向け準備(希望集計・回覧作成)。
4	令和3年7月12日	職員還元 R3 年度第1回目実施の打合せ ⇒職員還元【Lunch&StayHome de プチ贅沢!!】
5	令和3年9月14日	忘年会(開催未定)
6	令和3年10月11日	忘年会(開催未定)
7	令和3年11月18日	忘年会中止となった場合の職員還元について検討
8	令和3年12月13日	忘年会中止決定 ⇒職員還元【①オードブル ②お菓子 ③お食事券】で決定。配布に向け準備(希望集計・回覧作成)。
9	令和4年1月11日	職員還元 R3 年度第2回目実施の打合せ ⇒職員還元【Merry Christmas & Happy New Year お家 de!! 家族 de!!プチ贅沢!!】
10	令和4年2月14日	紙上開催
11	令和4年3月14日	紙上開催

4. 活動要約

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響による職員の安全を考慮した結果、歓迎会を始めとしたレクリエーション委員会が企画・運営する活動が中止となった。

そのため、例年とは異なるレクリエーション委員会の活動を検討し、職員還元企画を立案。年度内に2回実施するに至った。

今後も状況に合わせた対応を確認しながら、レクリエーション委員会としての活動を模索していく。

ICT(Infection Control Team)

1. 活動目的

本チームは、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける感染管理を担当する専門職によるグループで、院内ラウンドなどの活動を通して院内感染防止を目的として活動するものである。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

リーダー	清野 聡 (副院長・感染対策室長)		
サブリーダー	萩井 譲士 (副院長・医療安全室長)		
メンバー	中田 智子 (感染対策室副室長)	山口 美樹 (主任看護師代行)	飯田 哲子 (看護師)
	齊藤 恵美 (臨床検査技師長代行)	古川 栄 (臨床検査技師)	倉内 寿孝 (主任薬剤師)
	花田 和大 (薬剤師)		
リンクスタッフ	三上 小夜香 (主任看護師)	小野 るり子 (主任看護師)	工藤 夏美 (主任看護師)
	漆沢 修治 (主任看護師代行)	工藤 晃 (主任看護師)	佐藤 志乃 (主任看護師)
	橋本 祐樹 (主任看護師代行)	桑村 美佳 (主任看護師)	山内 史子 (主任看護師代行)
	佐藤 純子 (主任看護師代行)	齋藤 輝之 (主任看護師)	佐藤 愛 (主任看護師代行)
	伊藤 敏子 (主任看護師代行)	吉田 美奈 (主任看護師)	立原 秀実 (主任看護師)
	西谷 鮎子 (主任看護師代行)	赤石 富士子 (看護師)	川村 隆行 (診療放射線室技師長)
	山田 奈津子 (リハ主任・理学療法士)	齋藤 曜子 (リハ主任代行・作業療法士)	鳴海 悦子 (管理栄養室士長)
	工藤 博人 (施設管理課長)	須藤 舞 (医事係医事担当)	

3. ICT会議開催記録

回	開催日	内 容
1	令和 3 年 4 月 6 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
2	令和 3 年 4 月 13 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
3	令和 3 年 4 月 20 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
4	令和 3 年 4 月 27 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

5	令和 3 年 5 月 11 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 管理栄養士の便培養検査について 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
6	令和 3 年 5 月 18 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
7	令和 3 年 5 月 21 日 (臨時)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
8	令和 3 年 5 月 25 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
9	令和 3 年 6 月 1 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
10	令和 3 年 6 月 8 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
11	令和 3 年 6 月 15 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について スマイルキッズウイルス性胃腸炎について
12	令和 3 年 6 月 22 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について スマイルキッズウイルス性胃腸炎について
13	令和 3 年 6 月 29 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
14	令和 3 年 7 月 6 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

15	令和3年7月13日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 静脈血液培養について
16	令和3年7月20日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について HB ワクチンについて CV カテーテルについて
17	令和3年7月27日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
18	令和3年8月3日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 血管造影装置入れ替えについて ID NOW について
19	令和3年8月10日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について HB ワクチンについて
20	令和3年8月17日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 疥癬について 青森県高次脳機能障害リハビリテーション講習会開催について
21	令和3年8月24日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 津軽感染制御フォーラム開催日について

22	令和3年8月31日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
23	令和3年9月7日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
24	令和3年9月14日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について インフルエンザワクチン接種について 車いすシートカバーについて
25	令和3年9月21日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について インフルエンザワクチン接種について 空気清浄機の搬入について
26	令和3年9月28日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について インフルエンザワクチン接種について 令和3年度津軽感染制御フォーラムの開催について
27	令和3年10月5日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について インフルエンザワクチンについて 細菌感受性検査の追加について 院内空調工事について
28	令和3年10月12日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について インフルエンザワクチンについて

29	令和 3 年 10 月 19 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について ICD について
30	令和 3 年 10 月 26 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 院内感染防止対策研修会について 地域住民との座談会の職員派遣について 手指消毒使用量データについて 看護部の吸引に関する研修会開催について
31	令和 3 年 11 月 2 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について インフルエンザワクチン接種について 栄養士の検便検査結果について
32	令和 3 年 11 月 9 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 栄養士の検便検査結果について
33	令和 3 年 11 月 16 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 施設管理責任者による巡回について
34	令和 3 年 11 月 30 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
35	令和 3 年 12 月 7 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 合同カンファレンスについて

36	令和 3 年 12 月 14 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 緑膿菌感染の感染対策指導について
37	令和 3 年 12 月 21 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 仙台青葉学院短期大学実習について CV カテーテル先端の培養提出について
38	令和 3 年 12 月 28 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について SOFA・qSOFA スコア計算機について インフルエンザに伴う異常な行動に関する調査のお願いについて
39	令和 4 年 1 月 4 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
40	令和 4 年 1 月 11 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
41	令和 4 年 1 月 18 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
42	令和 4 年 2 月 1 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
43	令和 4 年 2 月 8 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

44	令和 4 年 2 月 15 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について HB ワクチンについて
45	令和 4 年 2 月 22 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
46	令和 4 年 3 月 1 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
47	令和 4 年 3 月 8 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 2022 年度の新人職員教育研修について
48	令和 4 年 3 月 15 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 2022 年度の新人職員教育研修について
49	令和 4 年 3 月 22 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について MRSA について
50	令和 4 年 3 月 29 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 新年度感染対策室新メンバーについて

4. 活動要約

- ・院内巡視（I C T ラウンド）を実施・評価し感染対策委員会にて提言
1 年を通して、評価項目の改善点なども多く抽出された。
I C T リンクスタッフによる現場指導目的、看護部のリンクスタッフが変更となった。
- ・アウトブレイクの早期察知と対応
CDI と疥癬のアウトブレイク早期発見により、早期終息ができた。
- ・手指衛生について
手指衛生の実施状況を確認し、継続した観察と感染対策指導を実施していく。

手指衛生の遵守に伴い、手指のケアを行える資材の提供なども検討していく。

- ・医療材料や資材の提供

- ①安全機構付き医療器への変更

- 患者さまと職員両者にとって安全である医療器材への切り替えを実施。

- CV ポート留置患者の増加に伴い、より安全で衛生的な医療提供が行えるように支援する。

- ②个人防护具の変更

- 粘膜曝露事例の増加から、眼の保護目的の个人防护具（ゴーグル）を変更し提供開始。

- 衛生的に使いやすい資材への変更をおこなった。

- ・ワクチンプログラムの再構築

職員自身の感染対策を実施すると共に、患者様を感染から守る目的からインフルエンザワクチンやB型肝炎に関するワクチンプログラムの見直しを実施。業務改善も含め実施している。継続したプログラム実施に対して支援を行う。

- ・排泄自立支援

尿路感染症患者の増加や尿道留置カテーテル使用比の低下を目標とし、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師と共に、排泄自立支援活動を開始した。医師やリハビリ部門職員もチームの一員として活動を継続し、カテーテル使用比の低下が見られた。尿路感染症に関する効果は継続して介入と観察を行っていく。

- ・感染対策簡易マニュアルの配布と院内統一表示開始

感染対策を適切に実施し、確認できる方法として簡易マニュアル作成と配布を実施。

職員（委託職員含む）が共通した対応が行える方法とし、感染表示を統一し開始した。

DST(Diabetic Support Team)

1. 活動目的

本チームは、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける糖尿病患者の合併症の発症・進行が抑制されるよう集学的な治療を行い、症状や生活の質が改善されるように指導や支援を行うことを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

指導医	医局	佐々木 都子 (内科部長)
GM	薬剤室	鳥谷部 翔 (薬剤師長)
リーダー	看護部	佐藤 志乃 (主任看護師)
メンバー	薬剤室	石田 瑞穂 (薬剤師)
	看護部	三上 小夜香 (主任看護師)
		佐藤 純子 (主任看護師代行)
		伊藤 敏子 (主任看護師代行)
		西谷 鮎子 (主任看護師代行)
		今井 真子 (看護師)
		田川 早苗 (看護師)
		板垣 充子 (看護師)
		西澤 麻梨奈 (看護師)
		澁谷 佳那 (看護師)
		小杉 汐里 (看護師)
		小山内 瞳 (歯科衛生士)
	栄養室	鳴海 悦子 (管理栄養士長)
		船水 亜巳 (管理栄養士)
		大川 みこと (管理栄養士)
	医学研究室	外崎 春香 (医療ク拉克)
事務局	事務部	山口 桃佳 (医事係医事担当)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和3年4月12日	糖尿病教室の活動について ルムジェブ注(インスリン超速効型)5月より長期処方解禁 第64回日本糖尿病学会年次学術集会について
2	令和3年5月10日	糖尿病教室の活動について ノボラピッド注のジェネリック インスリンアスパルトNR「サ ノバ」近日発売
3	令和3年6月14日	糖尿病教室の活動について ビクトーザ皮下注、イニシンク配合錠のデッドストックについ て 日本糖尿病学会 第59回東北地方会について

4	令和3年7月12日	糖尿病教室の活動について 日本糖尿病学会 第59回東北地方会について
5	令和3年8月16日	糖尿病教室の活動について 研修会4つ案内 ・エビデンスを活用した「糖尿病診療標準マニュアル」 ・糖尿病の食事療法と療養グッズの活用 ・DaiMond Seminar in 津軽 ・フォーシーガ シンポジウム 2021
6	令和3年9月13日	糖尿病教室の活動について フォーシーガ錠に慢性腎臓病の適用が追加されることについて 研修会の案内 ・脳卒中急性期栄養管理における血糖変動を考える ・インスリン発見 100 年
7	令和3年10月11日	糖尿病教室の活動について 第65回日本糖尿病学会年次学術集会について
8	令和3年11月8日	10月15日更新のインスリン製剤一覧配布 第56回糖尿病学の進歩について
9	令和3年12月13日	糖尿病教室の活動について 第56回糖尿病学の進歩について 第65回日本糖尿病学会年次学術集会について
10	令和4年1月17日	糖尿病教室の活動について 第56回糖尿病学の進歩について 第65回日本糖尿病学会年次学術集会について
11	令和4年2月14日	コロナウイルス感染拡大にする糖尿病教室中止について
12	令和4年3月14日	コロナウイルス感染拡大にする糖尿病教室中止について オゼンピック皮下注 SD の製造輸出一時中止に伴う出荷調整について 第65回日本糖尿病学会年次学術集会について

4. 活動要約

- ・業務効率の観点から、令和2年度より糖尿病教室を毎週木曜日14時30分からの開催へ変更を決議。
- ・糖尿病に関する啓蒙、糖尿病教室への参加を円滑にするため、対象患者へ案内カードを配布。
- ・院内スタッフ勉強会の実施。

脳ドックワーキンググループ

1. 活動目的

「脳ドック」を希望する対象者のニーズに応える。もって、根治の難しい神経疾患の発生を予防する。

2. 構成員 ※令和4年3月末現在

リーダー	内沢 隆充（副院長・脳神経外科部長）	
メンバー	萩井 譲士（副院長）	目時 典文（内科医員）
	佐藤 奈奈（看護師長）	村上 朋子（主任看護師）
	川村 隆行（診療放射線技師長）	齋藤 恵美（臨床検査技師長代行）
	齋藤 理恵（医事課長）	佐々木 哲裕（医事課係長医事担当）
	今 基（企画運営課長）	

3. 令和3年度の実績（令和3年4月～令和4年3月）について

実施主体	実施件数
一般	16 件
公立学校共済組合	67 件
市町村職員共済組合	34 件
弘前市国保	13 件
西目屋村国保	1 件
平川市国保	37 件
弘前市役所	8 件
総件数	176 件

未実施件数：17 件

（理由）

- ・体内金属有でのお断り（9 件）
- ・自己都合でのキャンセル（4 件）
- ・受診への変更（2 件）
- ・新型コロナウイルス感染症関連（2 件）

4. 活動要約

- ・脳卒中の早期発見と予防に貢献すべく、令和3年度も引き続き事業を継続
- ・公立学校共済組合「脳検診」の委託契約を更新（定員 80 名程度）
- ・青森県市町村職員共済組合との「脳検診」について委託契約を更新
- ・「弘前市国保脳ドック」の委託契約を更新
- ・「西目屋村国保脳ドック」について委託契約を更新
- ・「平川市国保脳ドック」の委託契約を更新
- 新規契約（個別契約）
- ・「弘前市役所職員脳ドック」の委託契約締結（令和3年10月1日～令和4年3月31日）

5. 脳ドックアンケートについて 【 回収率 50.6% 】

アンケート内容及び結果 別添参照

【アンケートへのご意見（抜粋）】

- ・ 県外からでしたが、対応していただきありがとうございます。詳しい検査は初めてでしたが、説明して頂き充実した内容でした。新型コロナウイルス感染症の流行もあり、予約変更にも快く対応して頂き、ありがとうございました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症流行禍の中で、ドッグをしてもらっただけで感謝です。結果報告も写真と共に見られてわかりやすく納得できました。
- ・ 平成 27 年に脳ドックを受診した時よりも、検査内容が多く安心できました。結果説明のご案内も分かりやすくよかったです。
- ・ 結果が見やすく、保管しやすいファイルで届いてありがたかった。よく読みました。
- ・ 医師の説明もスタッフの対応もとても丁寧で良かったです。脳卒中等にならなければ一番いいのですが、もし少しでも予兆があったら利用するようにしたいです。
- ・ 最初不安でしたが色々説明していただき、検査をスムーズに受ける事ができました。事前の資料もたいへん参考になりました。
- ・ マスクの鼻あて部分の金属は大丈夫なのか不安だった（結果的にはよかったが）。当日説明してもらえればより安心できると思う。どれが良いのか判断出来ないの。検査前の金属探知はよかった。
- ・ 医師、看護師の対応も良かったのですが、事務員の対応もすばらしかった。
- ・ 脳ドックの結果についてご説明いただけるとのことで、アフターフォローがきちんとされている病院と好印象を持ちました。今は新型コロナウイルス感染予防のため予約するのを保留していますが、もう少し状況がよくなったら結果の内容を詳しくお聞きしに行きたいと思っています。
(狭い所が苦手なためかなり緊張していたのですが、淡々と作業をされていたのもう少し検診者の不安な気持ちに寄り添う声がけ等がほしかったなと正直思いました。)
- ・ 軽食のラーメン味が少し薄かった。病院ですので仕方ありませんが…。

【総括】

- ・ 新型コロナウイルス感染症流行禍であったが、スポット契約した実施主体もあり、受診数は前年実績より 35 件増となった。
- ・ アンケート回答に協力いただけるよう声掛けを積極的に行い、半数の回収率となった。
- ・ ご意見に対して、真摯に受け止め、原因・状況を確認して今後のサービス向上につなげていく。
- ・ 日本脳ドック学会認定施設として、安心して検診出来る体制を構築していく。

脳ドック検診者様へのアンケート

この度は当院の脳ドックをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、当院ではサービスの改善・向上に向けての取り組みを実施しております。つきましては、今後の脳ドック事業の参考にいたしたく、検診者の皆様のご意見・ご要望を伺いたく存じますので、アンケートにお答え頂けますよう、よろしくお願いいたします。

~~~~~該当するところに○印をつけてください。~~~~~

### 【受診当日まで】

Q1. 事前送付資料はわかりやすいものでしたか

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

Q2. 問診票は記入しやすいものでしたか

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

Q3. 日程調整前に事前に問診票の記入をお願いする方法について

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

### 【受診当日】

Q1. 受付・会計窓口での接遇について

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

Q2. 看護師の接遇について

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

Q3. 医師の接遇について

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

Q4. 放射線技師・検査技師の接遇について

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

Q5. 検診時間について

1.思ったより早かった 2.ちょうど良い 3.やや長い 4.長かった

Q6. 脳ドックの検査内容について

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

裏面へ続きます



### 【検診結果について】

Q1. 結果説明までの期間について

- 1.満足    2.やや満足    3.ふつう    4.やや不満    5.不満

Q2. 結果報告書について

- 1.わかりやすい    2.ややわかりやすい    3.ややわかりにくい    4.わかりにくい

### 【その他】

Q1. 今後も当院の脳ドックを利用したいと思いますか

- 1.はい    2.いいえ

Q2. 当院の脳ドックを他の方に紹介したいと思いますか

- 1.はい    2.いいえ

全体を通してご意見、ご要望があればご記入ください。

[ ]

差し支えなければ検診を受けられた方のお名前をご記入ください。

なお、任意ですので未記入でも構いません。

お名前 \_\_\_\_\_ 様

ご記入頂いたアンケートは、返信用封筒でお送り頂けますようお願いいたします。

ご協力、ありがとうございました。

#### 【お問合せ先】

〒036-8104

青森県弘前市大字扇町一丁目2番地1

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

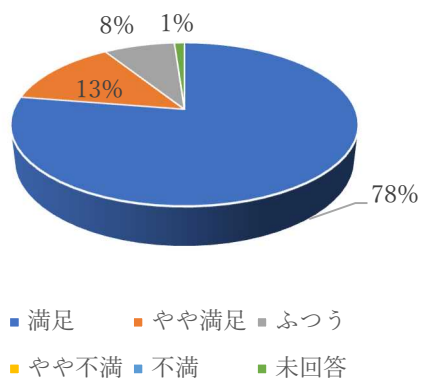
脳ドック申込担当（医事課）

電話：0172-28-8220

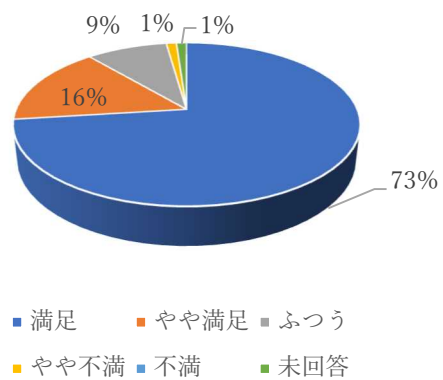
## 【アンケート結果】

<受診当日まで>

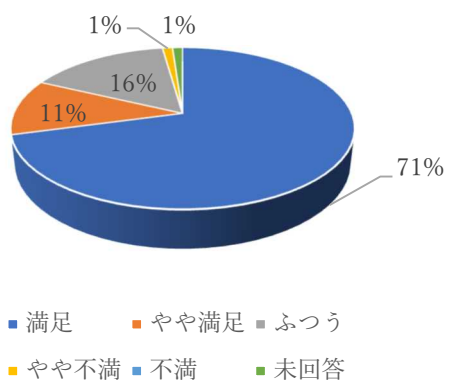
Q 1. 事前送付資料はわかりやすいものでしたか



Q 2. 問診票は記入しやすいものでしたか

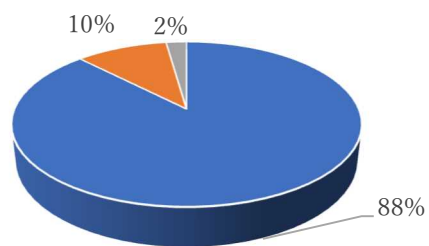


Q 3. 日程調整前に事前に問診票の記入をお願いする方法について



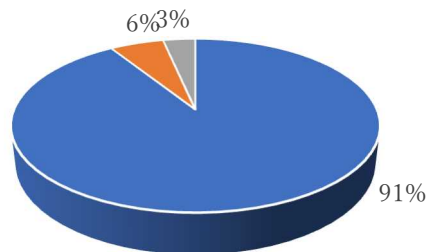
<受診当日>

Q 1.受付・会計窓口での接遇について



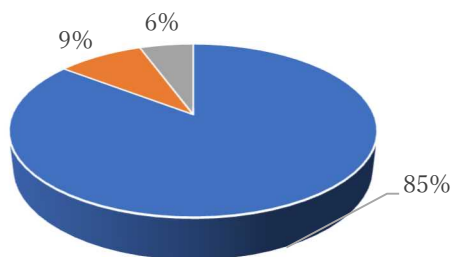
■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう  
■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

Q 2.看護師の接遇について



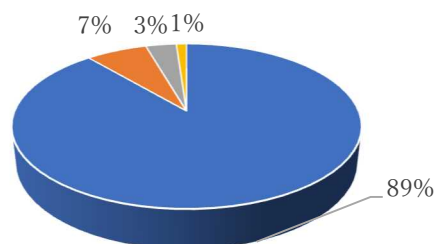
■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう  
■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

Q 3.医師の接遇について



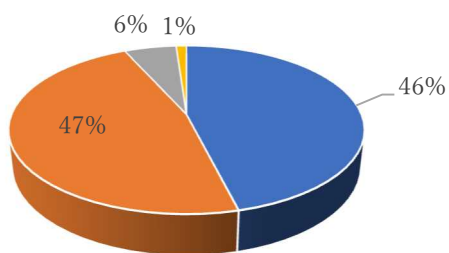
■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう  
■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

Q 4.放射線技師・検査技師の接遇について



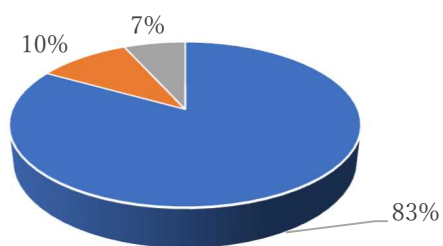
■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう  
■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

Q 5.検診時間について



■ 思ったより早かった ■ ちょうど良い  
■ やや長い ■ 長かった

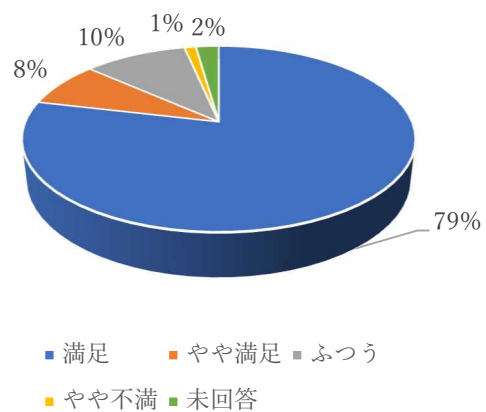
Q 6.脳ドックの検査内容について



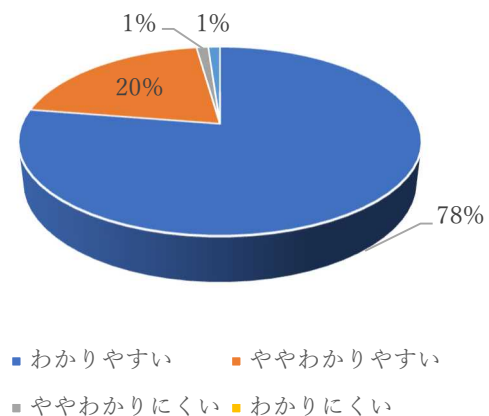
■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう  
■ やや不満 ■ 未回答

<検診結果について>

Q 1.結果説明までの期間について

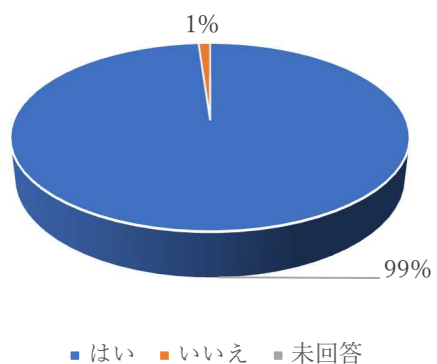


Q 2.結果報告書について

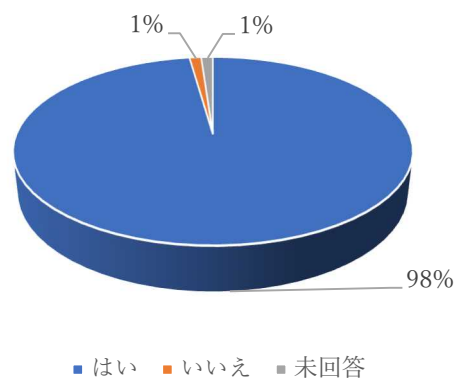


<その他>

Q 1.今後も当院の脳ドックを利用したいと思いますか



Q 2.当院の脳ドックを他の方に紹介したいと思いますか



## 心臓リハビリテーションチーム

### 1. 活動目的

本ワーキンググループは、心大血管疾患リハビリテーションを適正かつ円滑に遂行するための検討を行うことを目的とする。

### 2. 構成員 ※令和4年3月末現在

高橋 広希 (内科部長)【心臓リハビリテーション指導士】  
小野 公久 (リハ主任・作業療法士)【心臓リハビリテーション指導士】  
佐藤 勇季 (理学療法士)【心臓リハビリテーション指導士】  
佐藤 翔 (理学療法士)【心臓リハビリテーション指導士】  
鳥谷部 翔 (薬剤師長)  
佐藤 志乃 (主任看護師)  
外崎 佳奈子 (臨床検査技師)  
鳴海 悦子 (管理栄養士長)  
今 基 (企画運営課長)  
佐々木 大聖 (企画運営係)

### 3. 開催記録

| 回 | 開催日       | 内 容                                                                                                                    |
|---|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 令和3年4月9日  | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>心不全療養指導士育成について<br>回復期リハビリテーション病棟患者の CPX 実施について<br>機器備品購入について |
| 2 | 令和3年5月14日 | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>心不全療養指導士育成について<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>回復期リハビリテーション病棟患者の CPX 実施について<br>機器備品購入について |
| 3 | 令和3年6月11日 | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>心不全療養指導士育成について<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>機器備品購入について                                 |

|    |            |                                                                                                                                      |
|----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | 令和3年7月9日   | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>心不全療養指導士育成について<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>機器備品購入について<br>CPX 機器の不具合について<br>患者様の治療目標等、多職種による検討会議について |
| 5  | 令和3年8月6日   | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>心不全療養指導士育成について<br>急変時対応シミュレーションの検討                                                             |
| 6  | 令和3年9月10日  | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>心不全療養指導士育成について<br>急変時対応シミュレーションの検討                                                             |
| 7  | 令和3年10月8日  | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>心不全療養指導士の育成について<br>急変時対応シミュレーションの検討                                                            |
| 8  | 令和3年11月12日 | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>心不全療養指導士の育成について<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>CPX 保守点検について<br>ミニカンファランス実施について                         |
| 9  | 令和3年12月10日 | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>心不全療養指導士の育成について<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>令和4年度心臓リハビリテーションWG開催日程について                              |
| 10 | 令和4年1月14日  | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>心不全療養指導士の育成について<br>急変時対応シミュレーションの検討                                                            |
| 11 | 令和4年2月4日   | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>心不全療養指導士の育成について<br>急変時対応シミュレーションの検討                                                            |

|    |                 |                                                                           |
|----|-----------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 12 | 令和 4 年 3 月 11 日 | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>心不全療養指導士の育成について<br>急変時対応シミュレーションの検討 |
|----|-----------------|---------------------------------------------------------------------------|

#### 4. 活動要約

- ・心臓リハビリテーションを円滑に行うために、機器の選択やプロトコルの決定を多部門で行っている。

## 口腔ケアワーキンググループ

### 1. 活動目的

本チームは、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける入院患者の口腔衛生の向上と維持のために活動するものである。

### 2. 構成員 ※令和4年3月末現在

リーダー 千葉 順子（看護師長）  
 サブリーダー 横山 葵（歯科衛生士） 小山美津希（看護師）  
 メンバー 佐藤 奈月（作業療法士） 成田 理沙（言語聴覚士） 小山内 瞳（歯科衛生士）  
 福士 育子（看護師） 柳館 賢志（看護師）  
 須藤 賢登（看護師） 小笠原瑞穂（看護師） 石田 笑佳（看護師）  
 石黒 智子（看護師） 市崎瑠璃香（看護師） 阿部 愛子（看護師）  
 原子美喜子（看護師） 小林 学人（准看護師）

### 3. 委員会開催記録

| 回 | 開催日       | 内 容                                                                                                                      |
|---|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 令和3年4月7日  | 本年度活動計画とメンバーの確認<br>口腔ケアの目的、重要性を資料で周知<br>口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔アセスメントシート運用状況報告確認                                         |
| 2 | 令和3年5月12日 | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔アセスメントシート運用状況報告<br>自立度別シール運用状況報告<br>義歯の装着状況の確認                                                    |
| 3 | 令和3年6月2日  | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔アセスメント運用状況報告<br>自立度別シール運用状況報告<br>口腔内環境把握のための取り組みと計画<br>歯科衛生士から各病棟看護スタッフへの指導<br>歯ブラシ・コップの管理についての確認 |
| 4 | 令和3年7月7日  | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔アセスメント運用状況報告<br>自立度別シール運用状況報告<br>口腔内環境把握のための取り組み・計画について<br>衛生的な歯ブラシやコップの管理状況報告<br>歯磨き教室の実施状況報告    |



|    |                        |                                                                                                                                         |
|----|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5  | 令和 3 年 8 月 4 日         | 口腔アセスメント運用状況報告<br>自立度別シール運用状況報告<br>衛生的な歯ブラシやコップの管理状況報告<br>歯磨き教室評価                                                                       |
| 6  | 令和 3 年 9 月 1 日         | 口腔アセスメントの状況運用状況報告<br>シール貼りの運用状況を確認<br>口腔ケア一部介助患者の病棟での対応の検討<br>衛生的な歯ブラシやコップの管理状況報告<br>歯磨き教室を受けていないスタッフへの指導計画<br>自立の人のケアが不十分との意見あり指導方法の検討 |
| 7  | 令和 3 年 10 月 6 日        | 口腔アセスメントシートやシール貼り運用状況報告<br>自立度別シール運用状況報告<br>衛生的な歯ブラシやコップの管理状況報告<br>歯磨き教室未受講者への指導計画の進捗状況<br>一部介助・指導方法について検討                              |
| 8  | 令和 3 年 11 月 10 日       | 口腔アセスメントシートやシール貼り運用状況報告<br>自立度別シール運用状況報告<br>衛生的な歯ブラシやコップの管理状況報告<br>歯磨き教室未受講者への指導計画の進捗状況                                                 |
| 9  | 令和 3 年 12 月 休会         | 次回委員会で、今年度の評価報告                                                                                                                         |
| 10 | 令和 4 年 1 月 5 日         | 口腔アセスメントシートやシール貼り運用状況報告<br>自立度別シール運用状況報告<br>衛生的な歯ブラシやコップの管理状況報告<br>一部介助、指導の患者へ、食後洗面所で口腔ケア時都度介入<br>今年度の評価と来年度の計画案を書面で提出                  |
| 11 | 令和 4 年 2 月 休会          | 次回、次年度の課題について                                                                                                                           |
| 12 | 令和 4 年 3 月 2 日<br>紙上開催 | 今年度の評価・課題の抽出と来年度の計画案報告<br>次年度の目標案作成                                                                                                     |

#### 4. 活動要約

- ・口腔ケアW/G委員へは、口腔ケアの目的、重要性を資料にて周知し意識向上に努めた。
  - ・歯科衛生士から看護スタッフへ歯磨き教室を開催することで、看護師の口腔ケア手技確認し手技の統一を図ることができた。また、歯磨き教室未受講者へは、口腔ケア技術チェックを実施し技術向上に努めた。
  - ・義歯の装着状況と使用物品の衛生管理や使用方法について、委員会で進捗状況を確認することでスタッフの使用物品の衛生管理や使用方法が習慣化されてきた。
- 課題として、アセスメントシートの立ち上げの問題や一部介助者や指導患者への介入は、不十分であり、今後は多職種と情報共有し課題を乗り越えていくことが必要である。

令和4年3月31日発行

【編集】弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 広報委員会

|     |                        |
|-----|------------------------|
| 委員長 | 佐々木 都 子（内科部長）          |
| 委 員 | 樋 口 三枝子（看護部長）          |
|     | 算用子 暁 美（リハビリテーション部技師長） |
|     | 鳥谷部 翔 （薬剤師長）           |
|     | 盛 啓 介（庶務課係長）           |
|     | 田 中 結 菜（庶務課主任）         |